

平成28年度
SYLLABUS
講義要項

保育学科

山村学園短期大学

保育学科 SYLLABUS もくじ

頁	科目名	担当教員名	頁	科目名	担当教員名
【教養科目】			37	音楽表現	福泉・山邊
1	日本国憲法	今西	38	子どものうたと遊び	竹ノ谷
2	体育講義	木内	【教職に関する科目】		
3	体育実技	木内	39	教育方法・技術論	新井英
4	保育英会話	Faxon	40	保育・教職実践演習(幼稚園)	橋本淳・上田
5	生命倫理	渡邊	【保育表現技術科目】		
6	コンピュータ基礎演習	新井誠	41	音楽	福泉・山邊・数野・大導寺
7	保育入門	山村・相沢			町田・福士
8	基礎演習	室井・山村・上田・黒澤一 新井英・福泉	42	図画工作	橋本夏
【保育の本質・目的に関する科目】			43	幼児体育	鴨志田
9	社会福祉	橋本淳	44	生活	野口
10	相談援助	室井	【保育者の資質を高める科目】		
11	児童家庭福祉	橋本淳	45	総合演習	橋本夏・相沢・鴨志田・橋本淳
12	保育原理	室井	46	カウンセリング論	相馬
13	社会的養護	黒澤一	47	乳児小児救命法	橋本夏・マスターワークス
14	教育原理	新井英	48	子ども文化演習A・表現	尾崎
15	特別支援教育論	黒澤一	49	子ども文化演習B・自然とあそび	菅原
16	保育・教育職の研究	野口	50	子ども文化演習C・劇	鴨志田・橋本夏
【保育の対象の理解に関する科目】			51	レクリエーション・野外活動	新井英・井上
17	保育の心理学Ⅰ	上田	52	ピアノA	山邊・数野・大導寺・町田・福士
18	保育の心理学Ⅱ	土屋	53	ピアノB	福泉・山邊・数野・大導寺
19	子どもの保健Ⅰ	田中・相沢・山村			町田・福士
20	子どもの保健Ⅱ	田中	54	スキルアップセミナーⅠ	室井・山村・上田・黒澤一
21	子どもの食と栄養	田中			新井英・福泉
22	家庭支援論	竹ノ谷	55	スキルアップセミナーⅡ	橋本夏・相沢・鴨志田・橋本淳
【保育の内容・方法に関する科目】			【実習科目】		
23	保育内容総論	相沢	56	実習指導Ⅰ	橋本淳・相沢・新井英・上田・室井
24	保育内容A	相沢・上田・鴨志田・室井	57	実習指導Ⅱ	橋本淳・相沢・新井英・上田
25	保育内容B	上田・鴨志田			黒澤一・室井
26	保育内容C	相沢・室井	58	実習指導Ⅲ	橋本淳・相沢・新井英・上田
27	保育内容D	相沢・上田・鴨志田・室井			黒澤一・室井
28	乳児保育	上田	59	保育実習Ⅰ	室井
29	障がい児保育	黒澤民	60	施設実習Ⅰ	黒澤一
30	社会的養護内容	黒澤一	61	保育実習Ⅱ	橋本淳
31	保育・教育相談の方法	森	62	施設実習Ⅱ	黒澤一
32	保育・教育課程論	新井英	63	教育実習Ⅰ	新井英
33	造形表現	橋本夏	64	教育実習Ⅱ	相沢
34	子どものアート	服部	【研究理解】		
35	身体表現	鴨志田	65	クラス運営と教材研究Ⅰ	橋本淳・北條
36	リトミック・リズム運動	鴨志田	66	クラス運営と教材研究Ⅱ	橋本淳・北條

授 業 科 目 名	日本国憲法			教 員	今西 隆彦		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	憲法、自由						
授 業 の 概 要	憲法は私たちの周りにある法律の基本となっている法律ですから、その内容を正しく理解することは、日本国民である私たちに必要なことです。しかし、「憲法」と言われても、なかなかイメージが湧かないのが現実でしょう。それは、私たちが小学校から高校で習う「憲法」の話の内容が身近に感じられることがないことも原因になっていると思います。 そこでこの講義では、憲法をなるべくわかりやすく解説しながら、憲法の基本を学び、習得してもらうようにしたいと思います。						
授業のねらいと到達目標	【ね ら い】 義務教育等で学んできた憲法を再度おさらいしながら、基本をしっかりと理解すること。 【到達目標】 主権者である国民として必要最低限の憲法の知識を身につける。						
授業の方法等	基本的には講義形式です。また、DVD視聴、法廷傍聴等の見学会(有志のみ)などを交えることを考えています。扱うテーマや講義の形式についても要望を受けつつ、できるだけ要望に応えるつもりです。また、憲法に限らず、法律的な考え方を伝えられるようなものであれば、他分野の法律についても扱っていきたいと考えています。						
授 業 計 画	1	自己紹介、ガイダンス					
	2	憲法とはなにか、憲法の歴史					
	3	国際法から考える憲法9条					
	4	自由とその規制、個人の尊重と法の下での平等、プライバシー					
	5	精神的自由権Ⅰ(思想、良心の自由)					
	6	精神的自由権Ⅱ(信教の自由、政教分離)					
	7	精神的自由権Ⅲ(表現の自由、知る権利、報道の自由)					
	8	経済的自由権、社会権					
	9	これまでのおさらい					
	10	法律に関するテーマで授業					
	11	刑事事件の話					
	12	裁判員裁判(DVD視聴)					
	13	三権分立について、国会と内閣の仕組みと役割					
	14	裁判所の仕組みとその役割、民主主義と皇室					
	15	まとめ					
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 50%						
教 科 書	裁判所職員総合研修所監修「憲法概説」(司法協会、再訂版、平成13年)						
参 考 書	特になし						
予習・復習・課題など	新聞やニュースなどの時事問題に興味を持っていただき、授業中にそれについて質問してください。						
関 連 科 目							
質問受付の方法	授業前後又はメール(imanishi-lo@arion.ocn.ne.jp)にて。						
履修上の注意	例年授業態度が非常に悪い人たちがいます。特に私語については、講義の妨げになるだけでなく講義を聞いてくれている人たちの妨害になりますので、慎んでください。						

授 業 科 目 名	体育講義			教 員	木内 誠		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	体育、スポーツ、運動、健康						
授 業 の 概 要	体育に関する基礎的な理論やスポーツ、運動、健康づくりの実践や指導に関する基礎的知識の習得を目指す。運動技能を身につける(学習する)プロセス、モチベーション、リーダーシップに加え、社会のなかでどのような文化としてスポーツが存在するかなど、スポーツに関する幅広い知識を習得する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】近年、生活の質の向上を目指す機運の向上や健康志向の高まりを背景に、スポーツや運動が社会的関心事のひとつとなっている。本講義では、スポーツを多様な視点から概観し、基礎的知識の習得をねらいとする。 【到達目標】体育、スポーツ、運動、健康に関する基礎的な理論を理解することができるとともに、実践や指導に関する基礎的知識を身につける。						
授業の方法等	プレゼン資料を用い講義形式で行う。ビデオを用いた学習やグループワークも行う。定期試験は、授業内容から出題する。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション 授業内容・評価方法の説明 2 運動学習 3 運動学習 4 運動・スポーツ行動への動機づけ 5 社会のなかのスポーツ スポーツの誕生と発展 6 社会のなかのスポーツ 遊びとしてのスポーツ 7 社会のなかのスポーツ 文化としてのスポーツ 8 スポーツとマネジメント 9 スポーツにおけるモチベーションマネジメント 内容理論 10 スポーツにおけるモチベーションマネジメント 過程理論 11 スポーツにおけるリーダーシップ 特性論と行動論 12 スポーツにおけるリーダーシップ 変革型リーダーシップ 13 スポーツにおけるコーチング 14 幼児教育におけるコーチング 15 まとめ						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 25% ■提出物 25%						
教 科 書	「スポーツ科学概論ースポーツ・健康運動指導の基礎知識」、田中菊子編著、創成社						
参 考 書	使用しません。必要に応じてプリントを配布します。						
予習・復習・課題など	教科書の当該箇所を読み予習、復習を行うこと。						
関 連 科 目	体育実技						
質 問 受 付 の 方 法	授業の前後にいつでも受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	質問は常時受け付けますので、積極的に参加することを望みます。						

授 業 科 目 名	体育実技			教 員	木内 誠		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	実技
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	スポーツ、体育、運動						
授 業 の 概 要	豊かな生活を送るためにスポーツや運動は重要な役割を果たす。本授業では、タグラグビー、バレーボール、バスケットボール、サッカー、アルティメットを教材に効果的な技術獲得のプロセスに関する学習、ライフスキルの獲得・学習、スポーツを楽しみながら心身の健康づくりを目指す。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】本授業では、多様なスポーツを楽しみながら健康な心身を育む。また、スポーツを通じリーダーシップやコミュニケーションなどのライフスキルの獲得・学習、技術獲得のプロセスを学ぶことをねらいとする。 【到達目標】スポーツを楽しみながら、スポーツに関する知識や技能を身につける。他者と協働するなかでリーダーシップやコミュニケーションスキルを身につける。						
授業の方法等	体育館において実技形式で行う。基礎的な技術やルール、競技特性を理解するための時間を確保し、そのうえでゲームを行う。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション 授業内容・評価方法の説明 班分け 2 タグラグビー 競技概要とルールの解説、パス 3 タグラグビー 戦術の解説、パス、ゲーム 4 タグラグビー ゲーム 5 バレーボール ルールの解説、パス 6 バレーボール サーブ、スパイク、ゲーム 7 バレーボール ゲーム 8 バスケットボール ルールの解説、パス、シュート 9 バスケットボール ゲーム 10 バスケットボール ゲーム 11 サッカー ルールの解説、パス、シュート 12 サッカー シュート、ゲーム 13 サッカー ゲーム 14 アルティメット（ニュースポーツ） 競技概要とルールの解説、パス、ゲーム 15 アルティメット（ニュースポーツ） パス、ゲーム						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔レポート〕50% ■授業への取り組み・態度 50%						
教 科 書	使用しません						
参 考 書	使用しません						
予習・復習・課題など	体育講義で得た知識を実際のスポーツ活動の場で活かしてください。						
関 連 科 目	体育講義						
質 問 受 付 の 方 法	授業の前後にいつでも受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	事故や怪我の防止のため、運動に適した服装・シューズで臨むこと（ジーンズなどは認めません）。						

授 業 科 目 名	保育英会話			教 員	Ronald Faxon		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	幼稚園での英会話						
授 業 の 概 要	保育園や幼稚園で使うであろう英語の練習です。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 教科書に沿って内容を理解し、よく使う表現を反復練習して役割を決めて使い慣れるようにする。 【到達目標】 保育園、幼稚園に日本語が苦手な子どもがいた場合に英語を使って、少しでも対応できるようにする。						
授業の方法等	演習形式で授業を進めます。教科書に沿って授業を進めるので、教科書を持参してください。また、プリントを配布するので、メモや必要事項を書き込む必要があります。						
授 業 計 画	1 テキストに沿って進めます。第一回は「お名前を教えてください」というテーマで挨拶の練習。 2 「園によろこそ！」というテーマで挨拶の練習。 3 時間と数。 4 地図と道案内 5 クラスメイトとの出会い 6 天候の挨拶 7 食事に関する表現 8 生活習慣の表現 9 子供同士の交流の表現 10 怪我と病気 11 電話での対応 12 遠足 13 赤ちゃんのケア 14 卒園 15 まとめ						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 30% ■その他〔小テスト〕20%						
教 科 書	「保育の英会話」萌文書林 赤松直子、久富陽子著						
参 考 書	特になし						
予習・復習・課題など	毎回教科書に沿って授業を進めます。予習として教科書を読んでおくこと。授業時によく使った表現の復習と配布したプリントの整理をしておくこと。						
関 連 科 目							
質 問 受 付 の 方 法	授業前、授業終了後 随時						
履 修 上 の 注 意							

授 業 科 目 名	コンピュータ基礎演習			教 員	新井 誠		
開 講 時 期	前期	配当年度	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	コンピュータ・インターネット・セキュリティ・ワード・エクセル・パワーポイント						
授 業 の 概 要	コンピュータの基礎的な使用法について学ぶ						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】現代社会ではコンピュータを用いた情報活用能力が求められている。この能力は、情報の収集、整理、分析、表現に大きく分けることができる。 【到達目標】この科目においては、これらの能力の基礎的な部分を習得することを目標とする。 具体的には次の4点である。 ・インターネットの利便性および危険性を踏まえて活用できること。 ・プレゼンテーションソフトを使って、説得力のあるプレゼンができること。 ・ワープロソフトを使って、図や表を取り込んだビジネス文書を作成できること。 ・表計算ソフトを使って、簡単なデータの加工ができること。						
授業の方法等	コンピュータを一人一台ずつ使用し、演習を中心行います。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション（コンピュータを上手に使えるようろう） 2 Windows 7を使ってみよう。 3 インターネットの仕組みを理解して、安全にコンピュータを使うための方法を身につけよう。 4 パワーポイント 2010を使ってプレゼンをしてみよう。 5 プレゼンテーション（発表文書）を作成してみよう。（1） 6 プレゼンテーション（発表文書）を作成してみよう。（2） 7 プレゼンテーション（発表文書）を作成してみよう。（3） 8 作成した文書を、パワーポイント使ってプレゼンをしてみよう。 9 ワード 2010を使って文書を作成してみよう。 10 ビジネス文書を作成してみよう。（1） 11 ビジネス文書を作成してみよう。（2） 12 ビジネス文書を作成してみよう。（3） 13 エクセル 2010を使ってデータ処理をしてみよう。 14 エクセルの基本操作を使ってデータ処理をしよう。 15 エクセルの便利な機能を使ってデータ処理をしよう。						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔実技〕50% ■授業への取り組み・態度 25% ■演習課題等の提出物 25%						
教 科 書	ミニマニュアルシリーズ Office 2010 (数研出版) ISBN:978-4-410-70260-0						
参 考 書	保育者のためのパソコン講座 (萌文書林) ISBN:978-4-89347-190-1						
予習・復習・課題など	配布資料・課題表・演習課題出力結果は、各自ファイルにとじ毎回持参する。課題表により次回課題に必要なデータを調べるなど予習をしておくこと。						
関 連 科 目							
質 問 受 付 の 方 法	講義の前後に受付ける。						
履 修 上 の 注 意	演習データ保存用（講義中に指示する）には、各自のUSBメモリーを使用する。						

授 業 科 目 名	保育入門			教 員	相沢 和恵・山村 穂高		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	本短大と山村国際高校との連携科目。山村国際高校での授業内で実施。保育所での体験学習。						
授 業 の 概 要	1 前半は、保育技術検定2級の筆記試験対策を行い、後半は現場での実践的な知識、技能を習得する。例えば絵本の読み聞かせ、手遊び、造形、子どもの病気やケガなどについて学習する。 2 夏季休業中には、保育所などでの体験学習を行う予定。						
授業のねらいと到達目標	【授業のねらい】 1 保育技術検定2級合格を目指し、言語表現技術、造形表現技術、看護表現技術の筆記試験で合格できるようにする。 2 保育に必要な絵本の読み聞かせ、手遊び、造形の技術等の基本的な技能を身につける。 3 保育所での体験学習を行い、保育現場の理解を深める。 【到達目標】 1 保育技術検定2級合格に必要な言語表現技術、造形表現技術、看護表現技術の知識を説明できる。 2 保育に必要な絵本の読み聞かせ、手遊び、造形技術などの基本的な技能を実際に活用することができる。 3 保育所での体験学習を通し、保育の現場の雰囲気を感じ、感じたことを言葉で表現することができる。						
授業の方法等	山村国際高校での授業20回（90分×20回）。保育所での体験学習半日×3日間。						
授 業 計 画	1	造形表現技術基礎知識の習得①	15	保育実践一手遊び①			
	2	言語表現技術基礎知識の習得①	16	保育実践一手遊び②			
	3	家庭看護技術基礎知識の習得①	17	保育実践一造形その他			
	4	造形表現技術基礎知識の習得②	18	保育実践一子どもの病気、けが			
	5	言語表現技術基礎知識の習得②	19	保育実践一絵本の読み聞かせ②			
	6	家庭看護技術基礎知識の習得②	20	保育実践一手遊び③			
	7	造形表現技術基礎知識の習得③	21	保育実践一手遊び④			
	8	言語表現技術基礎知識の習得③	22	保育実践一造形その他			
	9	家庭看護技術基礎知識の習得③	23	まとめ 確認テスト（12/5）			
	10	それまでのまとめ、確認テストと体験学習準備（6/27）					
	11	保育体験学習（近隣保育園にて）					
	12	保育体験学習（近隣保育園にて）					
	13	保育体験学習（近隣保育園にて）					
	14	保育実践一絵本の読み聞かせ①					
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕80% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 10%						
教科書	指定なし						
参考書	指定なし						
予習・復習・課題など	プリントなどでその日の学習の復習を行うこと。また、そのプリントを活用して、次の授業の予習をしておくこと。						
関連科目	音楽、ピアノA・B、子どもの心理学、保育内容総論、保育原理、保育内容A、B、C、Dなど。						
質問受付の方法	授業時間中または授業前後で質問を受け付けます。						
履修上の注意	本短大に入学後、本学保育学科の必要卒業単位数に単位を算入します。保育所での体験学習は本短大の近隣の園で実施する予定。山村国際高校との日程の調整により、内容の変更があるので注意すること。						

授 業 科 目 名	基礎演習			教 員	室井 佑美・山村 穂高・上田 厚作 黒澤 一幸・新井 英人・福泉 博子		
開 講 時 期	通年	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	体験学習、行事、園見学、キャリア教育、コミュニケーション能力、ナチュラル保育検定、山短テキスト						
授 業 の 概 要	体験学習、行事に向けた事前の準備・事後のふりかえりを中心に、学生としての基本的な生活態度・学びの方法・挨拶、マナー、コミュニケーション能力、社会人としての使命感、望ましい職業観等について学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】体験学習、行事に関する事前学習・準備等、クラスゼミ学習等を通して、保育者としての専門性を高め、社会人としての使命感や自立心を向上させます。 【到達目標】(1)幼稚園、保育園や社会福祉施設の現場を理解できる。(2)幼児の観察・記録、保育の方法・技術の実際を知ると共に、園行事の企画・運営の基礎的な保育能力を身につけることができる。(3)体験学習を通して望ましい職業観・使命感等を身につけることができる。						
授業の方法等	学内での講義、演習、グループワーク、学外でのフィールドワーク、体験学習など多様な授業形態で実施します。						
授 業 計 画	1	カリキュラム理解・サークル紹介	16	後期オリエンテーション、建学の精神表彰			
	2	クラスゼミ、個人面談	17	教育実習Ⅰに向けて			
	3	クラスゼミ(山緑祭準備)、個人面談	18	運動会参加			
	4	クラスゼミ(山緑祭準備)、個人面談	19	クラスゼミ			
	5	防災避難訓練、学生総会、交通安全講習会	20	実習報告会(1・2年合同)			
	6	園見学①	21	施設見学1班／クラスゼミ2班(クリスマス会準備)			
	7	園見学②	22	クラスゼミ1班(クリスマス会準備)／施設見学2班			
	8	川越巡り事前学習	23	クラスゼミ(クリスマス会準備)			
	9	川越巡り事前学習	24	ナチュラル保育検定②			
	10	川越巡り	25	クラスゼミ(クリスマス会準備)			
	11	川越巡り振り返り	26	クリスマス会リハーサル			
	12	ナチュラル保育検定①	27	クリスマス会振り返り、履歴書写真撮影			
	13	山緑祭準備	28	学習成果発表会、「建学の精神」等アンケート			
	14	山緑祭後片づけ、TDL事前学習					
	15	体験学習オリエンテーション、「建学の精神」等アンケート					
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度(行事欠席1回で10点減点、授業1回欠席で2点減点します。) 50% ■提出物 50%						
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。						
参考書	適宜指示します。						
予習・復習・課題など	様々な体験学習や行事、フィールドワークの事前・事後学習のため、授業時間外でもクラス・グループ・個人による活動・準備が必要となる場合があります。						
関連科目	スキルアップセミナーⅠ、実習指導Ⅰ・Ⅱ、音楽表現、造形表現						
質問受付の方法	各担任に随時聞いてください。						
履修上の注意	基礎演習(第1時限)とスキルアップセミナーⅠ(第2時限)は、学習内容によって2限目と連続で実施したり、同じテーマでもそれぞれの授業の違った観点から展開したりする場合があります。						

授 業 科 目 名	社会福祉			教 員	橋本 淳一		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	トゥギャザー・ウィズ・ヒム ノーマライゼーション アドボカシー 社会福祉基礎構造改革						
授 業 の 概 要	本講義では、保育が福祉の一分野であることを知り、社会福祉の法体系や行政組織だけでなく、保育や子育て支援、児童養護、年金や健康保険、生活保護、障がい児・者の実情や制度について、その理解を深めます。						
授業のねらいと到達目標	[ねらい] 社会福祉と現実の保育実践がどう繋がっているのかを知るとともに、現代の社会福祉の考え方や体系を理解し、その法律や制度、専門的方法・技術など、保育現場にいかせるように学びます。 [到達目標] 保育士国家試験の社会福祉分野の問題の6割正答レベルの社会福祉に関する知識の習得です。						
授業の方法等	パワーポイントのスライドとプリントを使い講義形式で進めます。						
授 業 計 画	1 社会福祉とは何か 2 社会福祉における人権と子どもの権利 3 社会福祉専門職の価値と倫理 4 近代までの社会福祉の歴史 5 海外の社会福祉の歴史 6 社会福祉の法体系 7 社会福祉の行政組織 8 社会福祉の援助技術 9 社会保障制度①～年金・健康保険～ 10 社会保障制度②～公的扶助・生活保護～ 11 子どもと家族の福祉 12 障がいを持つ人の福祉 13 高齢者の福祉 14 地域福祉とボランティア 15 授業のまとめとサンプル問題演習						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕80% ■授業への取り組み・態度 20%						
教 科 書	馬場茂樹・和田光一編著『現代社会福祉のすすめ』学文社、2012年。（2,415円）						
参 考 書	『国民福祉の動向』（厚生統計協会）						
予習・復習・課題など	各回授業内容の教科書該当部分の予習・復習を期待する。						
関 連 科 目	児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容						
質 問 受 付 の 方 法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可 【Eメールアドレス＝jh0831@gmail.com】						
履 修 上 の 注 意	各回配布するプリントの管理と整理は自己責任で行ってください。						

授 業 科 目 名	相談援助			教 員	室井 佑美		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	相談援助 ソーシャルワーク 面接 コミュニケーション 連携 倫理 自己理解 他者理解						
授 業 の 概 要	保育者として、現代社会の中で求められている相談援助の技術や技能を習得するため、ソーシャルワークの意義や歴史的変遷、方法と技術等、専門的な理論に基づいて学びます。さらに、相談援助の技術について、個別援助技術(ケースワーク)を中心に用いて、他者理解、自己理解を深めながら学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】子どもの健やかな育ちを支えるため、保育者として子どもがかかわる家庭、社会等、環境に対する相互作用を支援士、保護者や地域の育児力向上が望めるよう、相談援助の理論・技術を習得する。 【到達目標】(1) ソーシャルワーク理論に基づき、「相談援助」とは何か理解する。(2) 保育者として、課題を整理し、問題解決に必要な支援について考えることができる。(3) 専門職としての職業倫理を踏まえて、他者理解および自己理解を深め、自らの相談援助に生かしていくことができる。						
授業の方法等	演習および講義での形式。特に演習では自ら考え、積極的に発言、主張、行動していくことを求めます。また、視聴覚教材の使用、グループワーク等も授業内で行います。授業内課題、レポート課題、リアクションペーパーの提出を求めます。						
授 業 計 画	1	オリエンテーション 相談援助とは何か(定義と内容)					
	2	相談援助の理論・意義・機能					
	3	相談援助とソーシャルワーク					
	4	相談援助の対象					
	5	相談援助の過程					
	6	相談援助の方法と技術①(ケースワーク)					
	7	相談援助の方法と技術②(グループワーク)					
	8	相談援助の方法と技術③(コミュニティワーク、関連した援助技術)					
	9	相談援助における計画、記録、評価					
	10	相談援助における社会資源の活用、調整、開発					
	11	相談援助における関係機関との協働、多様な専門職との連携					
	12	事例分析①ー虐待の予防と対策ー					
	13	事例分析②ー障がい児と保護者、家庭への支援ー					
	14	事例分析③ー保育所・幼稚園等における保育相談支援ー					
成績評価の基準と方法	■期末試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他〔授業内効果測定〕30%						
教科書	「保育・社会福祉学生のための相談援助演習入門」 中寫洋・園川緑編著 萌文書林 1800円						
参考書	児童福祉六法、社会福祉六法、その他授業中に適宜紹介します。						
予習・復習・課題など	授業中は、教科書・配布プリント等には書き込み、授業後に学んだことを逐次整理してください。演習に対して真剣に行うことで、技術が向上し、自己省察も深まります。意識高く望んでください。授業内で提示される課題に基づき、資料や文献を探して、自ら調べた後にレポートを作成してください。						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 保育・教育相談の方法 等						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で対応します。また、毎回のリアクションペーパーでも受け付けます。						
履修上の注意	教科書・配布プリント等には積極的に書き込みを行い、ファイルに整理してください。毎回のリアクションペーパーの提出を求めますので、自らの意見を述べてください。						

授 業 科 目 名	児童家庭福祉			教 員	橋本 淳一		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	保育 保育士 福祉 家庭 子育て支援						
授 業 の 概 要	現代社会における児童家庭福祉の意義と歴史の変遷、児童家庭福祉の一分野としての保育、児童の人権、児童家庭福祉の制度や実施体系、多様な保育ニーズや次世代育成支援等児童家庭福祉の現状と課題、動向と展望について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育が福祉の一分野であることを理解し、保育・子育て支援を中心に、児童・家庭に関する実情や制度について、福祉の観点から捉え直すことです。 【到達目標】 保育士国家試験の児童家庭福祉分野の問題の6割正答レベルの児童家庭福祉に関する知識の習得です。						
授業の方法等	パワーポイントのスライドとプリントを使い講義形式で進めます。						
授 業 計 画	1 児童家庭福祉の一分野としての保育 2 児童家庭福祉の対象と子どもの人権 3 児童家庭福祉と保育所のあゆみ 4 児童家庭福祉の法律 5 児童家庭福祉の行政組織 6 児童家庭福祉の専門職と実施者 7 児童福祉施設の種類と運営 8 社会的養護と児童虐待防止 9 少子化と子育て支援サービス 10 児童の健全育成と母子保健 11 少年非行と情緒障害等への対応 12 多様な保育ニーズへの対応 13 障がいのある子どもの福祉 14 保健・医療・保育・療育・教育等との連携とネットワーク 15 授業のまとめとサンプル問題演習						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕80% ■授業への取り組み・態度 20%						
教 科 書	馬場茂樹・和田光一編著『現代児童家庭福祉のすすめ』学文社、2008年。（2,310円）						
参 考 書	『国民福祉の動向』（厚生統計協会）						
予習・復習・課題など	各回授業内容の教科書該当部分の予習・復習を期待する。						
関 連 科 目	社会福祉 社会的養護 社会的養護内容 相談援助 家庭支援論						
質 問 受 付 の 方 法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可 【Eメールアドレス＝jh0831@gmail.com】						
履 修 上 の 注 意	各回配布するプリントの管理と整理は自己責任で行ってください。						

授 業 科 目 名	保育原理			教 員	室井 佑美		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	保育所保育 養護 教育 保育思想 保育史 保育所保育指針 発達 保育士						
授 業 の 概 要	保育の意義、基本、方法など保育の原理を学びます。さらに、日本と諸外国の保育の思想、歴史を知り、保育に関連した制度や課題を把握します。そのうえで、「保育とは何か」という保育の本質をとらえ、考えていきます。また、保育に関する問題意識をもち、子どもへの理解、保育現場に対する理解等、様々な力を身につけます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育士資格を取得するための必須科目であり、保育士としての専門性を把握するための根本を学ぶ。保育の本質を考察することで、保育者としての資質向上を目指すことができる意欲を養う。 【到達目標】 保育所保育指針、保育内容と方法について説明することができる。保育の思想や歴史の変遷をとらえ、現在の保育施策の背景と現状を説明することができる。そのうえで、保育の意義を示しながら、保育の課題にを主体的に考えることができる。						
授業の方法等	講義形式。視聴覚教材の使用、グループワーク等も授業内で一部行います。また、レポート課題、リアクションペーパーの提出を求めます。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション、保育とは何か (理念と概念) 2 保育に関する法体系 3 保育に関する制度、政策 4 保育所保育指針における保育の基本 5 保育の内容と方法 6 保育の計画 (保育課程・指導計画の構造と作成) 7 保育の実践と評価 8 子育て支援 9 多様化する保育ニーズ 10 日本での保育の現状と課題 11 保育の思想と歴史的変遷① 日本 12 保育の思想と歴史的変遷② 諸外国 13 諸外国の保育と日本の保育 14 保育者の職務と専門性 15 まとめ						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 30%						
教 科 書	『Workで学ぶ保育原理』 佐伯一弥・金瑛珠企画・編集 わかば社 1400円 保育所保育指針解説書 幼稚園教育要領解説						
参 考 書	児童福祉六法、その他授業中に適宜紹介します。						
予習・復習・課題など	授業中は配布するプリント等には書き込みを行い、授業後に学んだことを整理して復習してください。教科書、保育所保育指針を熟読し、予習を行ってください。授業内で提示される課題に基づき、資料や文献を探して、自ら調べた後にレポートを作成してください。						
関 連 科 目	保育・教育職の研究 教育原理 保育内容総論 保育・教育課程論 など						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、担当教員の研究室等で対応します。また、毎回のリアクションペーパーでも受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	配布プリント等には積極的に書き込みを行い、ファイルに整理する。 毎回のリアクションペーパーの提出を求めますので、自らの意見を述べてください。						

授 業 科 目 名	社会的養護			教 員	黒澤 一幸		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	社会的養護、児童虐待、家庭養護、里親、権利擁護						
授 業 の 概 要	虐待、育児放棄など様々な理由で社会的支援を受けながら生活している子どもたちとその家族を適切に支援するために必要となる援助者としての姿勢、援助計画の立て方、援助の進め方、援助において活用できる社会的資源などについて学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 社会的養護を担う専門職の一員である保育士に必要とされる考え方や姿勢、制度とその活用の在り方を習得します。 【到達目標】 (1)現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解する。(2)社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利擁護について理解する。(3)社会的養護の制度や実施体系等について理解する。(4)社会的養護における児童の人権擁護及び自立支援等について理解する。(5)社会的養護の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	講義形式が中心となりますが、施設実習Ⅰ・Ⅱの体験をもとにグループ討議や事例検討を行います。						
授 業 計 画	1 社会的養護の理念と概念 2 社会的養護の歴史的変遷 3 児童家庭福祉の一分野としての社会的養護 4 児童の権利擁護と社会的養護 5 社会的養護の制度と法体系 6 社会的養護の仕組みと実施体系 7 家庭養護と施設養護 8 社会的養護の専門職・実施者 9 施設養護の基本原則 10 施設養護の実践 11 施設養護とソーシャルワーク 12 施設等の運営管理の現状と課題 13 倫理の確立 14 被措置児童等の虐待防止の現状と課題 15 社会的養護と地域福祉の現状と課題						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教 科 書	「基本保育シリーズ⑥社会的養護」相澤・村井編、中央法規、2,000円(税別)						
参 考 書	「社会的養護の課題と将来像」児童養護施設等の社会的養護の課題に関する検討委員会・社会保障審議会児童部会社会的養護専門委員会平成23年7月						
予習・復習・課題など	【予習】 授業は教科書に沿って進めるので、必ず目を通しておくこと。 【復習】 学習ノートの作成と整理						
関 連 科 目	社会的養護内容、児童家庭福祉、施設実習Ⅰ・Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	適宜研究室等で対応します。						
履 修 上 の 注 意	児童虐待などに関する新聞記事をスクラップし、記事の中の専門用語や記事に対する自身の考えをまとめて社会的養護に対する理解を図るようにしてください。						

授 業 科 目 名	教育原理			教 員	新井 英人		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	学校教育、教育思想、教育史、学習指導要領、教育法規						
授 業 の 概 要	「教育は人なり」と言われます。教育の目的や歴史を踏まえながら、人間形成において最も重要な乳幼児期の保育に携わる保育士・幼稚園教諭に必要な、学校教育に関わる理念、教育制度、学習指導要領、教育課程、学習指導等の基礎的な知識を学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】教育の目的や意義・方法等について学習し、保育士・幼稚園教諭として必要な基本的な知識や考え方を習得します。 【到達目標】(1)教育の意義・目的について理解する。(2)学校教育の歴史と制度について理解する。(3)教育の制度について理解する。(4)教育実践のさまざまな取組について理解する。(5)教育の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	講義形式で行います。必要に応じて課題を提示し、レポートなどに基づいて学生との間で双方向性のある授業展開を目指します。また、最近の教育の動向や様々な教育問題等についても学んでいきます。						
授 業 計 画	1 教育とは何かを考える 2 教育の目的を考える 3 子どもの権利としての教育と福祉 4 日本における就学前教育と児童福祉 5 日本の教育の歴史Ⅰ 6 日本の教育の歴史Ⅱ 7 近代日本までの教育理論 8 日本の幼児教育理論 9 諸外国における教育観と子ども観の変遷 10 日本の教育制度 11 教育行政の目的と組織 12 保育内容の変遷 13 教育実践の基礎理論 14 教育実践の多様な取り組み 15 生涯学習社会と学校教育						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教 科 書	保育士養成課程「教育原理」小田豊監修、野尻裕子・栗原泰子編著、光生館						
参 考 書	文部科学省HP						
予習・復習・課題など	【予習】学校教育に関する新聞記事を読み自分の考えを記述する。 【復習】学習ノートの作成と整理						
関 連 科 目	保育原理						
質 問 受 付 の 方 法	適宜研究室等に対応します。						
履 修 上 の 注 意	講義の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授 業 科 目 名	特別支援教育論			教 員	黒澤 一幸		
開 講 時 期	前期	配当年次	1・2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	特別支援教育、就学支援、特別支援学校・学級、通級指導教室、特別支援教育コーディネーター						
授 業 の 概 要	特別支援教育は、特殊教育の対象であった障がいに加え、LD、ADHD、高機能自閉症等も対象としています。授業では、子ども達一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めるために適切な指導や支援を行う特別支援教育の意義、対象となる障がいに関する基礎的な知識、理解、教育の現状について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】特別支援教育の意義や制度等について理解し、特別な教育的ニーズのある子ども達を支援するために必要な基礎的・基本的な知識や考え方を習得します。 【到達目標】(1)特別支援教育の理念や基礎的な体系を理解する。(2)特別支援教育の指導・支援内容と実践方法を理解する。(3)個に応じた指導・支援の方法について理解する。(4)特別支援教育の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	講義形式で行います。授業では障がいのある児童生徒の支援の在り方等の実際について理解を図るために、ビデオ視聴やレポート発表などを通して、学生との双方向性のある授業展開を目指します。						
授 業 計 画	1 特別支援教育の現状 2 視覚障がい児の理解と指導の実際 3 聴覚障がい児の理解と指導の実際 4 知的障がい児の理解と指導の実際 5 肢体不自由児の理解と指導の実際 6 病弱児の理解と指導の実際 7 重複障がい児の理解 8 LD児の理解 9 ADHD児の理解 10 自閉症児の理解 11 情緒障害児の理解 12 特別支援学校の教育の実際 13 特別支援学級の教育の実際 14 通級による指導の実際 15 小中学校等における特別支援教育の実際						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教 科 書	必要に応じてプリントを配布します。						
参 考 書	文部科学省及び国立特別支援教育総合研究所のHPにある資料						
予習・復習・課題など	【予習】提出課題の調査・障がい児等に関する新聞記事を読み自分の考えを記述する。 【復習】学習ノートの作成と整理						
関 連 科 目	障がい児保育						
質 問 受 付 の 方 法	適宜研究室等で対応します。						
履 修 上 の 注 意	講義等の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授 業 科 目 名	保育・教育職の研究			教 員	野口 一夫		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	保育者(保育士・幼稚園教諭) 今求められる資質・能力 幼保連携型認定こども園 論作文の書き方						
授 業 の 概 要	保育者としての専門性と豊かな人間性を兼ね備え、地域社会に貢献できる骨太な保育士・幼稚園教諭の養成とその基礎となる役割や資格、そして資質・能力のあり方を習得する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育士や幼稚園教諭を目指すために、保育者とは何か、今保育者に求められている資質や能力は何か、そしてその職務の内容等について、関連法規等を踏まえて検証することができる。 【到達目標】保育者(保育士や幼稚園教諭)に対する意識を高め、その違いや共通点を明らかにし、さらに保育者としての専門性の高揚を図るのが目標となる。						
授業の方法等	わかりやすく理解するため、「聞く」「書く」「質問」「演示」等のメリハリを工夫し、保育所や幼稚園を取り巻く国の動向や公務員試験の現状等をリアルタイムに提供						
授 業 計 画	1 「保育」のもつ意味 ～先人に見る「子ども観」 幼保連携型認定こども園 2 保育士と幼稚園教諭の違い ～本県の幼稚園・保育所の実態 3 保育者の要件・地位 ～T(時) P(場所) O(場合) 4 保育者としての資格・免許 ～職業病 5 保育士の専門性と役割 ～保育の基本 6 幼稚園教諭の専門性と役割 ～地方公務員法(服務) 7 保育士・幼稚園教諭の職務の具体的な内容 ～5領域 8 最近の乳幼児・児童の傾向 ～LD、ADHD、アスペルガー症候群等 9 様々な保育課題と対応の在り方 1 ～夜尿症、本好きな子に等 10 様々な保育課題と対応の在り方 2 ～しつけ、虐待、放任、過保護等 11 今求められる理想の保育者像 ～都市化、少子化、核家族化等 12 今、保育者に求められる資質・能力 ～組織に馴染む 13 保育所・幼稚園と家庭の役割 ～ドロシー・ロー・ノルト 14 適性の理解と進路選択 ～本年度の公務員試験 15 公務員等試験にみる昨今の就職状況 ～論作文の書き方						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度(欠席は減点対象)10% ■提出物(レポート)30%						
教 科 書	不使用						
参 考 書	保育所保育指針 幼稚園教育要領 教育・保育要領 保育者論(建帛社)						
予習・復習・課題など	毎回レポートを提出し、採点して次回に返却。確認してファイルに保管。特に欠席した場合は担当教員に相談し、適切な処置を早急にとること。						
関 連 科 目	保育原理 教育原理						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員 随時						
履 修 上 の 注 意	レポートは毎回提出 レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意						

授 業 科 目 名	保育の心理学 I			教 員	上田 厚作		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	子どもの発達、感情・運動・言葉、基本的信頼感、愛着、発達課題、発達障害、生涯発達						
授 業 の 概 要	子どもの発達の基礎を学び、保育実践と関連付けながら理解する。生涯発達の視点から、子どもが人と相互に関わりながら発達していくことを理解し、保育のあり方、保育における留意点を考えていく。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】子どもの発達に関する心理学の知識を身に付ける。現場でどのように子どもとのかかわるか、保護者にどのように対応するか、そのための保育実践の知識を身に付ける。 【到達目標】基礎的な子どもの発達過程について理解し、説明できる。子どもへの効果的なかかわり方について自ら具体的方法を考えられるようになる。子どもへの望ましいかかわり方、望ましくないかかわり方が分かるようになる。						
授業の方法等	毎回授業のテーマに関するプリントを配布し、要点を確認することで理解を深める。テーマはシラバスに従い、事例検討などを交えながら、考察を進めていく。						
授 業 計 画	1 生涯発達と各年代の発達課題への理解および発達援助、保育実践と自己評価の方法 2 子どもの発達における遺伝と環境の要因、双生児研究、コホート研究に関して 3 身体的機能と運動機能の発達、わが国の乳幼児の世界的な短睡眠傾向 4 知覚と認知の発達、ピアジェの認知理論①(感覚運動的段階、前操作的段階) 5 知覚と認知の発達、ピアジェの認知理論②(具体的操作期、形式的操作期) 6 前言語・言語コミュニケーション①(クーイング、ターンテーク、喃語、9ヶ月革命) 7 前言語・言語コミュニケーション②(1語文、2語文、多語文) 8 知能、IQ、EQとは？ 9 情動と脳の系統発達の三層構造 10 発達障害と発達受容、光とともに紹介 11 気質・性格、性格検査をしてみよう 12 生活習慣と気質・性格との関連 13 親子関係、愛着形成、他児との遊びに関して 14 乳幼児の仲間関係と問題行動への対処 15 青年期の発達、防衛機制と感情の昇華、保育を通じた社会人としての基礎						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 30% ■その他〔小テスト〕20%						
教 科 書	発達心理学 本郷一夫 建帛社						
参 考 書	授業中に適宜紹介します。						
予習・復習・課題など	授業の各回ごとにテーマに関するプリントを配布します。試験には授業で取り上げたポイントを中心に出题します。						
関 連 科 目	子どもの保健・保育内容健康・教育心理学・保育の心理学Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当者の指示を良く聞いてください。						

授 業 科 目 名	保育の心理学Ⅱ			教 員	土屋 和子		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	子どもの発達、経験、学習、発達障害、発達援助、生きる力、保育実践						
授 業 の 概 要	1. 保育の心理学Ⅰをふまえて、子どもの心身の発達と保育実践について理解を深めます。 2. 生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解します。 3. 保育における発達援助の狙いや具体的方法について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】子どもの心身の発達と経験や学習の過程について理解する。保育の具体的場面での子どもの気持ちや状態を捉え、声掛けや発達援助ができるようになる。発達上のトラブルを抱える子に気づき、保護者、子どもに適切な関わりができるようになる。保護者会にて、子どもの発達について説明できるようになる。 【到達目標】子どもの心身の発達に関わる事柄（環境、経験、発達トラブルの有無等）について説明できること。保育において、子どもや集団に何が必要かを見極めて具体的方法を説明できること。						
授業の方法等	授業時、プリントにて自ら設問について考え、調べる作業をする。プリントの最後には、授業内容から広げて考えたこと、感じたことを記入し提出する。プリントは翌週に返却。割り当てられたテーマについてのグループ発表あり。						
授 業 計 画	1 子ども理解における発達の把握 (1) 2 子ども理解における発達の把握 (2) ～生涯発達と子どもの最善の利益～ 3 子どもの精神的健康と発達障害---気になる子とは 4 発達に支援を必要とする子どもと保育実践--対人関係を結ぶことが苦手な子どもの保育 5 発達に支援を必要とする子どもと保育実践--対人関係以外の発達に支援を必要とする子どもの保育 6 気になる子への支援の理解 ～ロールプレイングを通して～ 7 異年齢にみる発達と保育実践 8 子どもの言葉の世界と遊び 9 子どもの想像力と創造性 10 年齢別に見る発達と保育実践--0歳児:アタッチメントと保育、2歳児:一方的な要求の中で 11 年齢別に見る発達と保育実践--2歳児:自己中心性と仲間関係、4歳児:自己主張といざこざ 12 年齢別に見る発達と保育実践--4歳児:自制心とルール遊び、6歳児:集団の中の自分 13 ワーク・事例分析(1)ジェノグラムとエコマップを活用した保育の課題検討 ～保護者理解のために～ 14 ワーク・事例分析 (2)社会資源を保育に活かす 15 現代社会に育つ子どもの発達と支援						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕50% 授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30% ■その他〔発表〕10%						
教 科 書	『理論と子どもの心を結ぶ保育の心理学』 大橋喜美子編著 保育出版社						
参 考 書	『保育の心理学Ⅰ・Ⅱ』本郷一夫編著 建帛社						
予習・復習・課題など	教科書・資料・文献を読む、授業に関連あるニュースについて調べる、発表資料を作る						
関 連 科 目							
質問受付の方法	毎回のプリントにある「感想、質問、意見」の欄を使用してください。						
履修上の注意	人に接していく仕事に就くことが前提なので、誠実な態度、素直な態度でいられない場合には単位修得は難しいと理解してください。						

授 業 科 目 名	子どもの保健Ⅰ			教 員	田中 直代・相沢 和恵・山村 穂高		
開 講 時 期	通年	配当年次	1	単位数	4	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	子どもの心身の健康、発達と保健、疾病、予防、子どもの精神保健、園での衛生管理、安全管理						
授 業 の 概 要	1 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 2 子どもの身体発育や生理的機能及び運動機能並びに精神機能の発達と保健について理解する。 3 子どもの疾病とその予防法及び適切な対応について理解する。 4 子どもの精神保健とその課題等について理解する。 5 保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について理解する。 6 施設等における子どもの心身の健康及び安全の実施体制について理解する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ・子どもの心身の健康増進の意義、子どもの発達と保健の関係、疾病と保育の関係を理解する。 ・園や施設での衛生管理、安全管理の重要性を認識するとともに、現場で役立てられる知識を習得する。 【到達目標】 ・子どもの健康と保健の意義について理解する。 ・子どもの心身の発達と保健について理解する。 ・子どもの疾病と保育について理解し、概要を説明できる。 ・子どもの心の健康とその課題に関する知識を理解し、自分が子どものためにできることを説明できる。 ・保育環境整備、衛生管理、安全管理の重要性を、キーワードを使って説明できる。 ・職員間の連携や組織について知り、家庭、専門機関、地域との連携の仕組みを理解する。						
授業の方法等	講義中心。次時の講義内容を知らせますので、予習を課題とする。年に数回のノートチェックと、課題レポート提出とする。前期:田中(18回) 後期:相沢(8回)・山村(4回)が担当する。						
授 業 計 画	1	子どもの保健と健康の意義 保健活動とは	16	感染症 (2) 細菌感染			
	2	子どもの保健と健康の意義 健康の概念と健康指標	17	感染症 (3) ウイルス感染			
	3	子どもの発育・発達と保健 (1) 人の成り立ち	18	学習の振り返りとまとめ			
	4	子どもの発育・発達と保健 (2) 身体発育	19	保育環境整備と保健			
	5	子どもの発育・発達と保健 (3) 生理機能の発達	20	保育現場における衛生管理			
	6	子どもの発育・発達と保健 (4) 運動機能・精神機能	21	保育現場における事故防止			
	7	子どもの健康状態の把握 (1) 健康観察	22	保育現場における安全対策ならびに危機管理			
	8	子どもの健康状態の把握 (2) 慢性疾患	23	けがや事故への対応			
	9	先天異常	24	職員間の連携と組織的取り組み			
	10	慢性疾患 (1) 栄養代謝異常 重症度疾患	25	母子保健対策と保育			
	11	慢性疾患 (2) 脳神経と神経系疾患	26	家庭・専門機関・地域との連携			
	12	小児期からの発育と生活習慣病	27	子どもの心の健康と発達			
	13	子どもの疾病予防と適切な対応	28	愛着と愛着障害			
	14	免疫とアレルギー疾患	29	心身症と習癖			
	15	感染症 (1) 総論と予防	30	まとめ			
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕80% ■授業への取り組み・態度(欠席は減点の対象)10% ■提出物10%						
教科書	「図表で学ぶ子どもの保健Ⅰ」 編集:加藤忠明他 建帛社, 2013年, 2,400円＋税						
参考書	「子どもの病気の地図帳」 監修:鴨下重彦他 講談社, 2012年, 4,000円＋税						
予習・復習・課題など	【予習】教科書の該当項目を読んでおく。指定した部分の予習を行う。年数回のレポートを提出する。 【復習】学習ノートは全ての配布資料をA4判2穴ファイルに整理と保存。後日ノート提出。復習テスト有り。						
関連科目	子どもの保健Ⅱ						
質問受付の方法	田中:授業中、講義前後で随時受け付けます。 相沢:随時受け付けます。 山村:h.yamamura@yamamuragakuen.com 火曜日を除く昼休み 他通常の勤務時間内随時。						
履修上の注意	保育士資格必修科目なので、遅刻・欠席等をしないこと。教科書とノートを随時使用。講義等の記録、配布した印刷物は、A4判2穴ファイルに学習ノートとして整理すること。第1～18回分は子どもの保健Ⅱに続ける。						

授 業 科 目 名	子どもの保健Ⅱ			教 員	田中 直代		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	子どもの健康評価、養護、応急手当、安全管理、保健活動、健康教育						
授 業 の 概 要	日々の保育の中で、子供の健やかな成長を支援するための、子どもの健康評価、乳幼児の養護、病気やけがの予防と応急手当が子どもの健康や安全を促す保健活動であることを理解し、技術を学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもの保健Iで学んだ知識を基に、保育実習に必要な子どもの健康と安全に関する具体的な支援技術を身につける。 【到達目標】 1.子どもの健康及び安全に係る保健活動の計画及び評価について学ぶ。 2.子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境を考える。 3.子どもの疾病とその予防及び適切な対応について具体的に学ぶ。 4.救急時の対応や事故防止、安全管理について具体的に学ぶ。 5.現代社会における心の健康問題や地域保健活動について理解する。						
授業の方法等	講義と演習、課題レポート、グループワーク・発表、						
授 業 計 画	1 子どもの保健活動の計画と評価（講義） 2 子どもの健康評価、観察のポイント、身体測定や体温測定の方法（演習） 3 子どもの保健と環境（1）（講義） 4 子どもの保健と環境（2）乳児の抱き方、衣服の選び方と着せ方（演習） 5 子どもの保健と環境（3）沐浴、おむつ交換（演習） 6 子どもの保健と環境（4）口腔ケア：歯みがき（演習） 7 感染症の予防と対応（講義）ビデオ視聴 8 感染管理の基本：予防接種、手洗い（演習） 9 事故防止と安全管理 病気やけがの対応（講義）（演習） 10 子どもの心の健康と地域の保健活動（講義） 11 保健計画と安全管理、健康教育、保健だより作成の調べもの（講義とグループワーク） 12 保健計画と安全管理、健康教育、保健だより作成（グループワーク） 13 保健計画と安全管理、健康教育、保健だより（グループ発表） 14 保健計画と安全管理、健康教育、保健だより（グループ発表）と学習の振り返りとまとめ						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕80% ■授業への取り組み・態度（欠席は減点の対象とする。）10% ■提出物 10%						
教 科 書	「子どもの保健Ⅱ」編集：佐藤益子 ななみ書房、2015年、2200円＋税						
参 考 書	「子どもの保健演習ノート」監修：榊原洋一 診断と治療社、2014年、2000円＋税						
予習・復習・課題など	【予習】教科書の該当項目を読んでおく。指定した部分の予習を行う。年数回のレポートを提出する。 【復習】学習ノートは全ての配布資料をA4判2穴ファイルに整理と保存。後日ノート提出。						
関 連 科 目	「乳児・小児救命法」「家庭支援論」「子どもの保健I」						
質問受付の方法	授業中、授業前後で随時受け付けます。						
履修上の注意	保育士資格必修科目なので遅刻・欠席等をしないこと。「子どもの保健I」のA4判2穴ファイルに続けて整理、保存すること。教科書とファイルを随時使用。演習は髪をまとめる、爪を切る、動きやすい服装で受講する。 「子どもの保健Ⅱ」のA4判2穴ファイルに続けて整理、保存すること。教科書とファイルを随時使用。						

授 業 科 目 名	子どもの食と栄養			教 員	田中 直代		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	子ども、栄養、授乳、離乳、間食、給食、食育、疾患と栄養						
授 業 の 概 要	子どもの健康と食生活の意義、発育・発達と食生活との関連、食物の消化・吸収、食事習慣や生活習慣の確立、授乳や離乳、食育などを中心に学習する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもの各発達段階における食と栄養の重要性を理解する。子どもの食生活の現状と課題を把握する。食の伝承を受け継ぎ豊かな食生活を伝える担い手になれるよう食に関心を持つ。また、日々の暮らしで適切な食材やメニュー選択をすることで健康な食習慣を確立する実践的な力を身につける。 【到達目標】 1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。 2. 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。 3. 食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化との関わりの中で理解する。 4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について学ぶ。 5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。						
授業の方法等	講義と演習（調理実習有り）						
授 業 計 画	1 子どもの健康と食生活の意義 食事バランスガイド 2 栄養・食に関する基本的知識 (1) 消化吸収、栄養の基礎知識 3 栄養・食に関する基本的知識 (2) タンパク質の代謝、糖質の代謝 4 栄養・食に関する基本的知識 (3) 脂質の代謝 5 栄養・食に関する基本的知識 (4) ビタミンの代謝、ミネラルの代謝、水分 食物繊維 6 栄養・食に関する基本的知識 (5) 妊娠期、授乳期の食事－食事摂取基準 食事バランスガイド ビデオ視聴 7 栄養・食に関する基本的知識 (6) 思春期：3・1・2お弁当法（演習） 8 子どもの発育・発達と栄養・食生活 (1) 乳幼児期の咀嚼の発達 9 子どもの発育・発達と栄養・食生活 (2) 乳児期の栄養 10 子どもの発育・発達と栄養・食生活 (3) 乳幼児期の栄養 11 乳児期：調乳（演習） 12 乳幼児期：離乳食（演習） 13 児童福祉施設における食と栄養（講義） 14 食の安全－食中毒と感染症（講義） 15 特別な配慮を要する子どもの食と栄養－食物アレルギー、疾病と体調不良、障害児（講義）						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度(欠席は減点対象)10% ■提出物〔演習について3回〕30% ※出席は教科書、ファイルを確認する。						
教 科 書	「子どもの食と栄養」児玉浩子 中山書店, 2014年, 2000円＋税						
参 考 書	「新版 子どもの食生活」上田玲子 ななみ書房, 2015年, 2400円＋税 「授乳・離乳の支援ガイド 実践の手引き」(株)母子事業団, 2008年, 3500円＋税						
予習・復習・課題など	【予習】教科書の該当項目を読んでおく。演習は授業前に予習を行い、スムーズに学習できるよう努める。 【復習】学習ノートは全ての配布資料をA4判2穴ファイルに整理と保存。後日ノート提出						
関 連 科 目	特になし						
質 問 受 付 の 方 法	授業中、授業前後で随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	保育士資格必修なので遅刻・欠席等をしないこと。A4判2穴ファイルに学習ノートとして整理、保存すること。教科書とファイルを随時使用。演習は髪をまとめる、爪を切る、適切な服装で受講する。エプロンと三角巾とお弁当箱を使用。						

授 業 科 目 名	家庭支援論			教 員	竹ノ谷 トミ子		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	○少子化 ○現代家族 ○子育て支援 ○援助者 ○研究課題意識と取り組み						
授 業 の 概 要	家族の役割・機能、また社会における多様な支援策を理解し、現代家族の問題や課題を踏まえ、保育者としての援助や子育て支援の在り方を学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 本授業では複雑な社会の要因を受け、様々な課題を抱えている家庭への理解を深めて、保育者としての立場でどのような援助をし、支援していったら良いのか、役割を認識して具体的な手立てを学んでいく。また、社会における多様な支援策を理解し、連携の在り方についても学んでいく。 【到達目標】 「現代家族・子育て支援」等に関する課題を研究テーマに決め、自己・グループ学習で調べ、まとめ、発表し合う。このことは、授業で学んだことを再確認でき、深く学び合うことを通じ、保育実践の場で活かすきっかけ作りとなり、“信頼される保育者を目指すこと”を目標とします。						
授業の方法等	○講義 ○自己学習・調査 ○グループ学習・まとめ・発表 ○演習						
授 業 計 画	1 「家族とは」「家族の意義」「理想の家族」について、グループで協議し、発表し合う 2 子育てにおける家族・家庭の動向と家庭支援の課題 3 子育て家庭を取り巻く社会環境・子育て意識の変化 4 子育て家庭を支援する具体的な制度 5 現代家族の状況と支援体制 6 子育て家庭支援の政策動向 7 子育て家庭支援の在り方 8 家族問題について、保育者としての援助や支援の在り方 9 特別なニーズを持つ家族と援助 10 現代家族・子育ての現状・少子化対策等、グループで“家庭支援研究課題”を決め、調べてまとめる 11 上記調査内容を模造紙にまとめる 12 まとめのグループ発表(前) 13 まとめのグループ発表(後) 14 世界の子育て 15 まとめ						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕70% ■授業への取り組み・態度(欠席は減点対象)10% ■その他〔レポート・自己調査内容・発表〕20%						
教 科 書	実践「家庭支援論」ななみ書房 ＊必ず毎回持参すること						
参 考 書	必要に応じて授業の中で紹介する						
予習・復習・課題など	「研究課題テーマ」と「取り組みについての方法・方向性」が決まったら、教科書を基に各自、新聞・インターネット・図書館等より、新しい資料収集に努めて下さい。						
関 連 科 目							
質 問 受 付 の 方 法	授業時、授業終了後随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	資料追加等あるため、ノート(A4サイズ)を用意し、まとめながら独自の資料を作成する。						

授 業 科 目 名	保育内容総論			教 員	相沢 和恵		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	保育所 幼稚園 養護 教育 遊び 生活 発達 5領域						
授 業 の 概 要	乳幼児期に子どもが保育の中で体験する内容について理解します。基本となる幼稚園教育要領、保育所保育指針をふまえて、保育のありかたについて考えます。5領域を総合的にとらえる視点を養い、保育の全体構造の理解と、子どもの理解やその方法について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 「保育の目標」「子どもの発達」「保育の内容」に関連づけて、保育内容の全体的な構造を理解する。 【到達目標】 子どもや子ども集団の発達の特性や発達過程を踏まえ、観察や記録の観点を習得し、保育内容と子どもの実際を理解することができる。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行う。						
授 業 計 画	1 保育内容を総論としてとらえる 2 保育所の日 3 幼稚園の日 4 遊びや生活を通して学ぶということ 5 保育所保育指針における保育内容の捉え方 6 幼稚園教育要領における保育内容の捉え方 7 教育・保育要領における保育内容の捉え方 8 事例で学ぶ領域と保育内容① 9 事例で学ぶ領域と保育内容② 10 事例で学ぶ年齢と保育内容① 11 事例で学ぶ年齢と保育内容② 12 事例で学ぶ子育て支援と保育内容 13 保育内容の課題（小学校との接続） 14 保育内容の課題（多様なニーズ） 15 保育実践とつながりを考える						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 30%						
教科書	保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領解説、最新保育講座4 第2版「保育内容総論」大豆生田・渡辺・柴崎・増田編 ミネルヴァ書房						
参考書	必要に応じて紹介します。						
予習・復習・課題など	関連科目と合わせて考えたり、乳幼児保育に関する情報への関心を持ち、保育に関する文献を読むことを勧めます。						
関連科目	保育内容A,B,C,D、教育方法・技術論、保育・教育課程論						
質問受付の方法	担当へ。						
履修上の注意	免許・資格科目です、必ず履修してください。						

授 業 科 目 名	保育内容A			教 員	相沢 和恵・上田 厚作 鴨志田 加奈・室井 佑美		
開 講 時 期	前期	配当年度	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	領域「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」 発達 遊び 生活 行事						
授 業 の 概 要	保育内容を総合的に把握し、保育の全体構造の理解に基づいて、子どもへの理解や保育内容、方法について学びます。実践的な活動を通して、五領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）を総合的に理解するとともに、領域のねらいと内容の概要を習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】養護と教育にかかわる保育内容が、それぞれに関連性を持ち、総合的に保育が展開されていくことを理解する。子どもが遊ぶ姿を焦点にあて、保育内容の五領域との関連をふまえて考えることができる。 【到達目標】(1) 保育内容の五領域に関する視点を理解する。(2) 保育内容との関連を意識し、計画することができる。(3) 体験した活動を記録することができる。(4) 実際の活動へ計画したものを体験し、それをもとに考察することができる。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。 複数名の教員体制でオムニバス方式の授業を展開します。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション、保育内容とは 2 五領域別学習①（健康） 3 五領域別学習②（人間関係） 4 五領域別学習③（環境） 5 五領域別学習④（言葉） 6 五領域別学習⑤（表現） 7 五領域を総合的に捉える①（遊び場面から） 8 五領域を総合的に捉える②（生活場面から） 9 五領域を総合的に捉える③（行事の場面から） 10 五領域を総合的に捉える④（身体表現の場面から） 11 五領域を総合的に捉える⑤（造形保育の場面から） 12 五領域を総合的に捉える⑥（自由保育の場面から） 13 五領域を総合的に捉える⑦（設定保育の場面から） 14 保育内容を意識した活動の計画①（夏の遊び場面から） 15 授業のまとめ、保育内容を意識した活動の計画②（夏の遊び場面から）						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 30%						
教 科 書	保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領解説、月刊「保育とカリキュラム」 ひかりのくに						
参 考 書	「遊びの指導」（乳幼児編） 幼少年教育研究所編著 同文書院						
予習・復習・課題など	授業の各回ごとにシートを作成します。提出したものについて、添削等アドバイスを加え、次回に返却します。担当者からのアドバイスをもとに、そのシートを加筆修正し、整理して保存しておきます。						
関 連 科 目	保育内容B、保育内容C、保育内容D、保育内容総論、保育・教育課程論、教育方法・技術論						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。なお、保育内容A～Dまでを一貫して記録保存します。授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示を良く聞いてください。						

授 業 科 目 名	保育内容B			教 員	上田 厚作・鴨志田 加奈		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	領域「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」 発達 遊び 生活 行事						
授 業 の 概 要	保育内容を総合的に把握し、保育の全体構造の理解に基づいて、子どもへの理解や保育内容、方法について学びます。実践的な活動を通して、五領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）を総合的に理解するとともに、領域のねらいと内容の概要を習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】養護と教育にかかわる保育内容が、それぞれに関連性を持ち、総合的に保育が展開されていくことを理解する。子どもが遊ぶ姿を焦点にあて、保育内容の五領域との関連をふまえて考えることができる。 【到達目標】(1) 保育内容の五領域に関する視点を理解する。(2) 保育内容との関連を意識し、計画することができる。(3) 体験した活動を記録することができる。(4) 実際の活動へ計画したものを体験し、それをもとに考察することができる。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。 教員2人体制でオムニバス方式の授業を展開します。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション、保育内容とあそび、季節に関連した遊び・秋①（子どもへのねらいと配慮） 2 季節に関連した遊び・秋②（保育内容を意識した活動への実施計画） 3 模倣・見立て（ごっこ）遊び①（子どもへのねらいと配慮） 4 模倣・見立て（ごっこ）遊び②（遊ぶ姿から考察し、保育内容を意識した活動へ計画を立案する） 5 年中行事を生かした遊び①（子どもへのねらいと配慮） 6 年中行事を生かした遊び②（遊ぶ姿から考察し、保育内容を意識した活動へ計画を立案する） 7 地域とのつながりを感じる遊び①（子どもへのねらいと配慮） 8 地域とのつながりを感じる遊び②（保育内容を意識した活動への実施計画と準備） 9 地域とのつながりを感じる遊び③（保育内容を意識した活動の実践と改善） 10 ルールのある遊び①（子どもへのねらいと配慮） 11 ルールのある遊び②（保育内容を意識した活動への実施計画） 12 感覚を刺激する遊び①（子どもへのねらいと配慮） 13 感覚を刺激する遊び②（保育内容を意識した活動への実施計画） 14 季節に関連した遊び・冬①（子どもへのねらいと配慮・保育内容を意識した活動への実施計画） 15 季節に関連した遊び・冬②（遊びを実践し、考察と再計画を行う）						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 50%						
教 科 書	保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領解説、月刊「保育とカリキュラム」 ひかりのくに						
参 考 書	「遊びの指導」（乳幼児編）幼少年教育研究所編著 同文書院						
予習・復習・課題など	保育内容A同様、シートを作成し提出を求めます。返却後は加筆修正し、整理して保存してください。定期的に披露をする場合がありますので、扱う素材、教材の準備や管理などは自身の責任で行います。						
関 連 科 目	保育内容B、保育内容C、保育内容D、保育内容総論、保育・教育課程論、教育方法・技術論						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。なお、保育内容A～Dまでを一貫して記録保存します。授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示を良く聞いてください。						

授 業 科 目 名	保育内容C			教 員	相沢 和恵・室井 佑美		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	領域「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」 発達 遊び 生活 行事						
授 業 の 概 要	保育内容を総合的に把握し、保育の全体構造の理解に基づいて、子どもへの理解や保育内容、方法について学びます。実践的な活動を通して、五領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）を総合的に理解するとともに、領域のねらいと内容の概要を習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】養護と教育にかかわる保育内容が、それぞれに関連性を持ち、総合的に保育が展開されていくことを理解する。子どもが遊ぶ姿を焦点にあて、保育内容の五領域との関連をふまえて考えることができる。 【到達目標】(1) 保育内容の五領域に関する視点を理解する。(2) 保育内容との関連を意識し、計画することができる。(3) 体験した活動を記録することができる。(4) 実際の活動へ計画したものを体験し、それをもとに考察することができる。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。 教員2人体制でオムニバス方式の授業を展開します。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション、保育内容と基本的生活習慣 2 食事・食育①（生活の場面から考える：弁当・給食・おやつ） 3 食事・食育②（生活の場面から考える：弁当・給食・おやつ） 4 清潔①（生活場面から考える：手洗い・うがい・歯磨き） 5 清潔②（生活場面から考える：手洗い・うがい・歯磨き） 6 遊びの中で生活習慣を意識できる保育活動①（生活場面から実際の指導を考える） 7 遊びの中で生活習慣を意識できる保育活動②（指導実践から、振り返り考察する） 8 衣服の着脱①（生活の場面から考える：戸外遊び・プール・身体測定） 9 衣服の着脱②（生活の場面から考える：戸外遊び・プール・身体測定） 10 睡眠①（生活の場面から考える：午睡・乳児の睡眠・就学へ向けて） 11 睡眠②（生活の場面から考える：午睡・乳児の睡眠・就学へ向けて） 12 排泄①（生活の場面から考える：おむつ交換・トイレトレーニング） 13 排泄②（生活の場面から考える：おむつ交換・トイレトレーニング） 14 保育内容の総合性と関連性						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 50%						
教 科 書	保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領解説、月刊「保育とカリキュラム」 ひかりのくに						
参 考 書	「遊びの指導」（乳幼児編）幼少年教育研究所編著 同文書院						
予習・復習・課題など	保育内容A同様、シートを作成し提出を求めます。返却後は加筆修正し、整理して保存してください。定期的に披露をする場がありますので、扱う素材、教材の準備や管理などは自身の責任で行います。						
関 連 科 目	保育内容A、保育内容B、保育内容D、保育内容総論、保育・教育課程論、教育方法・技術論						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。なお、保育内容A～Dまでを一貫して記録保存します。授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示を良く聞いてください。						

授 業 科 目 名	保育内容D			教 員	相沢 和恵・上田 厚作 鴨志田 加奈・室井 佑美		
開 講 時 期	前期	配当年度	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	領域「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」 発達 遊び 生活 行事						
授 業 の 概 要	保育内容を総合的に把握し、保育の全体構造の理解に基づいて、子どもへの理解や保育内容、方法について学びます。実践的な活動を通して、五領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）を総合的に理解するとともに、領域のねらいと内容の概要を習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】養護と教育にかかわる保育内容が、それぞれに関連性を持ち、総合的に保育が展開されていくことを理解する。子どもが遊ぶ姿を焦点にあて、保育内容の五領域との関連をふまえて考えることができる。 【到達目標】(1) 保育内容の五領域に関する視点を理解する。(2) 保育内容との関連を意識し、計画することができる。(3) 体験した活動を記録することができる。(4) 実際の活動へ計画したものを体験し、それをもとに考察することができる。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。 複数名の教員体制でオムニバス方式の授業を展開します。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション、保育内容と行事、季節に関連した行事①（子どもへのねらいと配慮） 2 季節に関連した行事②（保育内容を意識した活動への実施計画） 3 健康・安全を意識する行事①（子どもへのねらいと配慮） 4 健康・安全を意識する行事②（保育内容を意識した活動への実施計画） 5 季節に関連した行事/健康・安全を意識する行事のまとめ（活動の披露と展開、評価） 6 園や施設全体で取り組む行事①（人的環境の活かし方） 7 園や施設全体で取り組む行事②（人的環境での配慮と評価） 8 園や施設全体で取り組む行事③（物的環境の活かし方） 9 園や施設全体で取り組む行事④（物的環境での配慮と評価） 10 園や施設全体で取り組む行事⑤（社会的環境の活かし方） 11 園や施設全体で取り組む行事⑥（社会的環境での配慮と評価） 12 園や施設全体で取り組む行事⑦（保育内容との総合性と関連性） 13 行事に対する評価方法①（自己評価） 14 行事に対する評価方法②（園評価） 15 保育内容の総合性と関連性						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 50%						
教科書	保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領解説、月刊「保育とカリキュラム」 ひかりのくに						
参考書	授業中に適宜紹介します。						
予習・復習・課題など	保育内容A同様、シートを作成し提出を求めます。返却後は加筆修正し、整理して保存してください。定期的に披露をする場合がありますので、扱う素材、教材の準備や管理などは自身の責任で行います。						
関連科目	保育内容A、保育内容B、保育内容C、保育内容総論、保育・教育課程論、教育方法・技術論						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。なお、保育内容A～Dまでを一貫して記録保存します。授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示を良く聞いてください。						

授 業 科 目 名	乳児保育			教 員	上田 厚作		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	乳児保育の変遷と役割 乳幼児の発達や特性 保育士の専門性						
授 業 の 概 要	乳児保育とは、乳幼児が豊かに育つためには何が重要なのかを踏まえ、1. 乳児保育の概要について知る。2. 乳幼児期の発達や生活に理解を深める。3. 乳児保育を担当する保育士としての役割や専門性について認識する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】乳児保育に必要な知識や技能を様々な観点を通して学ぶ。 【到達目標】乳児保育についての歴史、現状、課題について理解する。乳幼児の心身の発達について基礎的知識を身につける。乳児保育の内容や、園児・保護者に対しての援助の方法について知る。						
授業の方法等	演習中心で行いますが、授業内容により、グループワーク・作品製作などの実技も取り入れます。						
授 業 計 画	1 乳児保育とは(乳児とは、乳児保育の意義と理念、乳児保育の歴史) 2 乳児保育の基礎(乳児の発達、愛着、必要な配慮、保健・衛生の活動) 3 0歳児の発達と保育(保育内容と保育技術、指導計画、家庭との連携) 4 1歳児の発達と保育(保育内容と保育技術、指導計画、家庭との連携) 5 2歳児の発達と保育(保育内容と保育技術、指導計画、家庭との連携) 6 乳児期の遊びと環境(遊びの意味、発達に沿った遊びと環境、安全への配慮) 7 乳児期の基本的生活習慣(睡眠、食事・排泄、援助と家庭との連携) 8 家庭における乳児の保育(乳児の一日、生活リズムの確立、父親・母親のあり方) 9 保育所における乳児の保育(役割、保育課程と指導計画、記録と活用、評価、協力体制) 10 小規模・家庭的保育所における乳児の保育(実際と注意点) 11 乳児院における乳児の保育(乳児院とは、乳児院の生活、独自の配慮、保育者の役割) 12 保護者の抱える問題(大人の生活に合わせられる乳児の生活、虐待、育児不安) 13 地域子育て支援の役割(地域子育て支援の現状、乳児期に必要な子育て支援) 14 乳児保育の現状と課題(保育指針における扱い、規則、果たすべき役割) 15 乳児保育の質を高めるために(社会環境の変化、資質向上、効果的な連携)						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 25% ■提出物 25%						
教 科 書	保育者養成シリーズ『乳児保育』 中野由美子・高橋弥生編著 一藝社						
参 考 書	授業中に適宜紹介します。						
予習・復習・課題など	授業の各回ごとに要点を記入していくプリントを配布します。期末試験と併せ、演習課題に関するグループワークによる提出物と演習への取り組みを評価します。						
関 連 科 目	保育内容A、保育内容B、保育内容C、保育内容D、保育内容総論、保育・教育課程論						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当者の指示を良く聞いてください。						

授 業 科 目 名	障がい児保育			教 員	黒澤 民治		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	障がい児、統合保育、障がい種別、知的障がい、発達障がい						
授 業 の 概 要	障がいのある幼児にとって保育所や幼稚園における集団活動による刺激は、確かな発達を促す意味で重要です。各障がい種別等の課題について考え、障がいのある幼児にどのように対応するかなどについて学習し、実践的資質を身につけます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】障がいに係る様々な課題や現状を理解し、望ましい保育活動を展開するために必要な、基礎的・基本的な知識等を習得することを目的とします。 【到達目標】(1) 障がいとは何かについて理解する。(2) 障がいのある幼児の保育について理解する。(3) 各障がい種別の特性等について理解する。(4) 障がいのある幼児の保護者の心情を理解する。(5) 発達障がいについて理解する。						
授業の方法等	授業では障がい児に係る様々な課題や現状及び支援の方法等を理解するために、ビデオ視聴やレポート発表などを通して、学生との双方向性のある授業展開を目指します。						
授 業 計 画	1 障がいに関するアンケート調査とオリエンテーション 2 障がいについての理解 3 障がい種別と程度 4 障がい種別への理解と対応(視覚・聴覚・肢体不自由) 5 障がい種別への理解と対応(知的・病弱) 6 発達障がいへの理解と対応(LD・ADHD・高機能自閉症) 7 障がいのある幼児の保育を進めるための基本的事項 8 分離保育と統合保育 9 障がいのある幼児の保護者の心情理解 10 障がいのある幼児の実態把握の手立て 11 障がいのある幼児の保育計画 12 事例研究① 13 事例研究② 14 就学支援と関係機関との連携 15 障がい児の就学の場合						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 20%						
教 科 書	必要に応じてプリントを配布します。						
参 考 書	授業中に適宜紹介します。						
予習・復習・課題など	【予習】提出課題の調査・障がい児等に関する新聞記事等を読む。 【復習】講義ノートの作成と整理						
関 連 科 目	特別支援教育論						
質 問 受 付 の 方 法	授業前後に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	テレビや新聞等から、「障がい」について関心をもつと、講義内容が身近になります。						

授 業 科 目 名	社会的養護内容			教 員	黒澤 一幸		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	社会的養護、施設養護、虐待、里親、権利擁護、個別支援計画						
授 業 の 概 要	児童福祉施設を利用している子ども達の生活の様子や心情を理解するために、援助者として必要な知識や心構えを身につけます。また、児童観や施設養護観などを養うことにより、利用者が安心して生活が送れるように、生活プログラムの作成や事例研究などを通して、望ましい援助の在り方などを学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】児童福祉施設等の利用者に対し、保育士として望ましい支援や援助ができるように、支援者として必要な知識や心構えを習得します。 【到達目標】(1)社会的養護における児童の権利擁護や保育士に求められる資質について理解する。(2)施設養護等の社会的養護の実践について理解する。(3)個別支援計画の作成と具体的な支援内容について理解する。(4)社会的養護に関わるソーシャルワークの方法や技術について理解する。(5)児童家庭福祉、地域福祉等について理解する。						
授業の方法等	演習科目なので、講義の他に事例に関わるグループ討議、報告発表等を行い、学生が主体的に参加する授業展開を目指します。						
授 業 計 画	1 子どもの権利擁護 2 社会的養護における保育士等の倫理及び責務 3 施設養護(乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設)の特性及び実際① 4 施設養護(情緒障害児短期治療施設、障害児施設)の特性及び実際② 5 家庭養護(里親制度、ファミリーホーム事業等)の特性及び実際 6 社会的養護におけるケアマネジメント 7 自立支援計画の作成 8 日常生活支援に関する事例分析 9 心理的支援に関する事例分析 10 自立支援に関する事例分析 11 記録及び自己評価(ケースカンファレンス) 12 社会的養護における保育士の専門性 13 社会的養護におけるソーシャルワーク 14 施設の小規模化と地域の関わり 15 今後の社会的養護の課題と展望						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教 科 書	「基本保育シリーズ⑱社会的養護内容」相澤・村井編、中央法規、2,000円(税別)						
参 考 書	厚生労働省HP						
予習・復習・課題など	【予習】提出課題の調査・児童福祉施設等にかかわる報道や虐待など社会的養護に関する情報を収集する。 【復習】学習ノートの作成と整理						
関 連 科 目	社会的養護、施設実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	グループ討議や講義等の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授 業 科 目 名	保育・教育相談の方法			教 員	森 八千代		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	講義・演習
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	①幼児理解 ②保育のしくみ ③記録 ④評価 ⑤子育ての現状 ⑥保育相談支援						
授 業 の 概 要	①保育相談支援幼児理解と評価の実際(実践事例)を学ぶ ②保育者の姿勢について理解する ③カウンセリングマインドと保育の接点を学ぶ ④子育ての現状を認識し、保育相談支援の方法を学ぶ						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ①幼児を理解することの基本知識を身につける ②保育者の関わりを研究し、幼児を主体的に考える能力を養う ③保育相談支援の実際を学び、内容や方法を理解する 【到達目標】 本授業では、保育の基本である幼児の行動や内面を理解すること、また、保育相談支援の方法を獲得することを目的とする						
授業の方法等	○グループワーク・討論・発表・ビデオ鑑賞などの利用 ○課題レポートの提出						
授 業 計 画	1 保育者の求められる専門性とは 2 環境を通して行う教育 3 幼児を肯定的に見る目をもつ 4 カウンセリングマインドと保育の接点 5 保育のしくみと幼児理解 6 幼児理解と評価 7 記録をとることの意味 8 記録の実際 9 ビデオカンファレンス 10 保育相談支援の意義＜家庭の変容と現状＞＜幼稚園・保育所の事例＞ 11 保育相談支援の進め方＜より効果的な保育相談をするために＞＜幼稚園・保育所の事例＞ 12 保育相談支援の技術＜保育相談支援の技術と留意点＞＜乳幼児の発達する姿＞ 13 保育相談支援の実際＜技術と留意点＞＜幼稚園・保育所の事例＞ 14 保育相談支援の実際＜幼稚園・保育所の事例＞ 15 保育相談支援の実際＜幼稚園・保育所の事例＞まとめ						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物・レポート 10% ■その他〔小テストの点数〕10%						
教 科 書	幼児理解と評価(平成22年 改訂版) 文部科学省 205円 保育相談支援(小林育子著) 萌文書林 1,728円						
参 考 書	幼稚園教育要領解説(平成20年 改訂版) 文部科学書 205円						
予習・復習・課題など	授業時には、教科書・参考書・ノート(A4)を必ず持参すること 【復習】授業で学んだことを読み返し、配布された資料などをノートに貼付するなどして整理すること						
関 連 科 目							
質 問 受 付 の 方 法	担当(森)に授業後に質問してください						
履 修 上 の 注 意							

授 業 科 目 名	保育・教育課程論			教 員	新井 英人		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	幼稚園教育要領、保育所保育指針、保育・教育課程を規定する法律をもとに作成の必要性について学ぶ。						
授 業 の 概 要	幼稚園及び保育所におけるカリキュラムを考え、保育士養成課程の保育課程論と幼稚園教諭養成課程の教育課程論について学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】幼稚園及び保育所における、カリキュラムを理解し、実際のカリキュラムに沿って指導計画が作成できる力を養います。 【到達目標】上記のねらいを達成するために、各カリキュラムについて理解し、保育士・幼稚園教諭として資質の向上と子どもたちのために、カリキュラムからしっかり指導計画の作成ができるようにする。						
授業の方法等	講義形式で進めます。できるだけ具体的な内容の提示をし、理解を深めていただきます。授業時間内において、レポートの提出を行うほか筆記試験を実施します。						
授 業 計 画	- カリキュラム編成の基本について - 保育課程・教育課程の必要性について - 保育所保育指針について - 保育課程編成の基本と指導計画のつながり - 幼稚園教育課程の基本と編成に向けて - 教育課程編成の留意点 - 指導計画作成の手順と留意点 - 保育方法と指導計画及び記録による反省 - 指導要録の構成と記載法 - 保育の基本と保育指導計画 - 幼稚園における指導計画とは - 保育形態に応じた指導計画 - 年間計画と行事 - 行事の計画と実際 - 評価の目的と対象						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕40% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 40%						
教 科 書	保育者養成シリーズ「保育・教育課程論」 (株)一藝社 高橋弥生 編著						
参 考 書	文部科学省「幼稚園教育要領解説」 フレーベル館 厚生労働省「保育所保育指針解説書」 フレーベル館						
予習・復習・課題など	予習：授業は教科書に沿って進めるので、必ず目を通しておくこと。 復習：ノートの作成と整理。						
関 連 科 目	保育・教育職の研究、教育方法・技術論、保育内容総論						
質 問 受 付 の 方 法	担当者に直接聞いて下さい。						
履 修 上 の 注 意							

授 業 科 目 名	造形表現			教 員	橋本 夏夫		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	「身近な素材」「グループワーク」「手で考える・心で感じ取る」「子どもの絵の見方」						
授 業 の 概 要	「身近な素材」「グループワーク」「手で考える・心で感じ取る」						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】造形や描画についての知識や技術を得るだけでなく、子どもの意欲的な活動を引き出す方法や造形、絵画に現れた子どものこころの姿を感じ取れる力を養います。また、制作を通して生活の中の芸術性とは何かについて考えます。 【到達目標】本授業は「制作する」という体験性を生かした学習です。単に技術を習得するだけではなく、その技術や知識が、子どもと共有する世界のどこに繋がっていくのか理解することを到達目標とします。						
授業の方法等	演習・グループワークなど、制作を主体に授業展開します。学期末に子どもの絵の発達とその特長についてなどの筆記試験を実施します。						
授 業 計 画	1	ガイダンス・「表現」の理解と造形表現のねらい/実技・身近な素材で表現する(新聞紙遊び1・跳ね上げ遊び)					
	2	透明な素材を活かした表現 (ビニールの向こう側を写し取る)					
	3	秘密基地をつくろう (ティピーテントをつくる)					
	4	秘密基地をつくろう (ティピーテントで遊ぶ)					
	5	空気の話・大きな風船をつくって飛ばそう (空気で遊ぶ)					
	6	段ボール箱からの展開 (平面から立体をつくる)					
	7	新聞紙遊び2・身体を包んで遊ぶ (新聞紙で表現する)					
	8	色画用紙を使ってオブジェをつくる (紙の表現方法を学ぶ)					
	9	季節(行事)の壁面制作 (クリスマス会へ向けて・年中行事について知る)					
	10	季節(行事)の壁面制作と展示 (クリスマス会へ向けて・年中行事について知る)					
	11	樹木と環境について ・卒業生の木をつくる・アートの森をつくるproject (自分の葉っぱをつくる)					
	12	どんぐりのせいぐらべ (どんぐりを見て自分を考える・擬人化した表現を学ぶ)					
	13	講義・子どもの絵の発達段階を学ぶ・子どもの絵に現れる特徴を理解する。					
	14	講義・子どもの絵の発達段階を学ぶ・子どもの絵に現れる特徴を理解する。					
	15	紙飛行機を作って飛ばす					
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 40%						
教科書	使用しない。毎回プリントを配布する。						
参考書	使用しない。毎回プリントを配布する。						
予習・復習・課題など	授業内で必要な準備(制作のプランや必要な材料の用意)は予習として各自が事前に行うこと。また、学校行事などと授業内容が関連している場合は、空き時間や放課後などの授業時間以外を使って準備する場合があります。						
関連科目	図画工作・子ども文化演習C劇						
質問受付の方法	オフィスアワーを含めて、随時受け付けます。						
履修上の注意	1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨むこと。2.積極的な姿勢で授業に関わること。3.毎回の授業時に配布するプリントは、各自が注意点を記入し完成させまとめること。						

授 業 科 目 名	子どものアート			教 員	服部 睦美		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	デザイン、素材、展示、発展応用						
授 業 の 概 要	「アート」という言葉の中には様々な表現活動が含まれていますが、ここでは私達の生活に身近なデザインを中心に学んでいきます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】身近にあるデザインを参考に成り立ちを学び理解し、応用に繋げられるようにします。 【到達目標】身近な素材を用いた制作を体験し、それらの扱い方を知り、新たな作品の展開を各々が考えられることを目標とします。						
授業の方法等	講義と演習。 考え方や手順の説明等講義し、実際に制作していきます。また自己の制作の体験を通して感じた問題点、感想及び発展のアイディア等レポートにまとめます。						
授 業 計 画	1	オリエンテーション 象徴的なデザインについて考える。 制作					
	2	サインボードの制作① /目的に合わせた効果的なデザインについて考察し、実際にデザインする。					
	3	サインボードの制作② /デザインしたサインボードの実制作、主にベース作り。					
	4	サインボードの制作③ /サインボードの制作、仕上げ。 まとめ					
	5	ファイルの制作① /身近な素材を利用した工作、主に紙工作について学ぶ。					
	6	ファイルの制作② /ファイルのデザインを考える。 制作					
	7	ファイルの制作③ /ファイルの制作。仕上げ。 まとめ					
	8	共同制作について考察する /点描について学ぶ。 制作					
	9	記念品の制作① /半期を通して学んだ事を応用し記念品のアイディアを考える。					
	10	記念品の制作② /実制作。					
	11	記念品の制作③ /制作、仕上げ。					
	12	鑑賞・提出					
成績評価の基準と方法	■期末試験〔レポート〕16% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 64% ■その他〔授業内レポート〕10%						
教科書	特になし						
参考書	あればその都度紹介します。						
予習・復習・課題など	指示された素材は必ず多めに集めるように心がけて下さい。素材の種類が作品の出来を大きく左右します。課題制作が授業中に終わらなければ、提出期限に間に合うように各自制作を完成させて下さい。提出期限はその都度指定します。						
関連科目	特になし						
質問受付の方法	授業時に直接						
履修上の注意	受講に必要な道具、素材は予め指示します。必ず忘れずに持って来て下さい。初回はお道具箱、筆記用具を持ってきて下さい。ノートはA4サイズレポート用紙を各自用意して下さい。						

授 業 科 目 名	身体表現			教 員	鴨志田 加奈		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	運動あそび、表現、ムーブメント、模倣(まねっこ)、創作						
授 業 の 概 要	子どもの身体表現の意義や過程、保育者としての受け止め方、保育場面における様々な身体表現活動の捉え方や実施方法等を学ぶ。保育者としての身体性や表現力を高める。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】子どもの身体表現活動について保育者としての専門的知識・技能を高める。自身の身体性や表現力を向上させ、保育者として良き人的環境となることを目指す。表現の過程を大切にしたい指導が出来る様になることを目指す。 【到達目標】①日常、活動、行事それぞれの場面における様々な身体表現活動の捉え方、活かし方を知る②笑顔で身体を大きく動かし言葉がけをしながら体操指導ができる③発表までの過程を意識しながら、簡単なダンス作品を作ることが出来る④保育者としての表現力を向上させる						
授業の方法等	実技、講義、ビデオ視聴、グループワーク、ロールプレイ、授業内テスト						
授 業 計 画	1	オリエンテーション、身体表現の意義、過程の重要性					
	2	日常の中の中にある身体表現					
	3	自由な身体表現を楽しむ活動①からだ・動き					
	4	自由な身体表現を楽しむ活動②音・オノマトペ					
	5	自由な身体表現を楽しむ活動 省察					
	6	行事に向けた作品作り①簡単な振付					
	7	行事に向けた作品作り②隊形移動、ステージング					
	8	行事に向けた作品作り③道具					
	9	実技発表					
	10	行事に向けた作品作り 省察					
	11	パフォーマンス創作(振付1)					
	12	パフォーマンス創作(振付2)					
	13	パフォーマンス創作(ステージング)					
	14	パフォーマンス創作(演出)					
	15	授業のまとめ					
成績評価の基準と方法	■期末試験〔レポート〕20% ■授業への取り組み・態度 50% ■その他〔授業内で行う実技発表〕30%						
教科書	改訂2版「子ども・からだ・表現～豊かな保育内容のための理論と演習～」西洋子 本山益子 吉川京子著 市村出版						
参考書							
予習・復習・課題など	教科書・参考書・資料・文献を読んでおくこと。 配布資料の整理しておくこと。						
関連科目	幼児体育、リトミック・リズム運動、音楽、音楽表現、図画工作、造形表現、子ども文化演習ABC						
質問受付の方法	オフィスアワーにて受付けます。(日時研究室前に掲示)						
履修上の注意	1.運動できる服装で臨むこと。2.内履き、外履きをロッカーに準備すること。3.プリント等はすべてA4判2穴ファイルに整理、保存すること。4.授業実施場所の変更や準備するもの等については教員の指示を良く聞くこと。						

授 業 科 目 名	リトミック・リズム運動			教 員	鴨志田 加奈		
開 講 時 期	後期	配当年次	1・2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	リトミック、リズム、ステップ、幼児、体育、体操、運動、あそび、表現、音楽						
授 業 の 概 要	1年次の身体表現・音楽表現を踏まえ発展的に学ぶ。全15回の授業の内、前半の7回は様々なスタイルのダンス実技と講義を通して、踊ることの意義や文化的背景について学ぶ。後半は、音楽と身体とを使った音楽教育(リトミック)について具体的な知識とその意義、指導法を学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 表現文化に関する知識、専門的な表現方法、教育法等、身体表現・音楽表現を広汎的深層的に学び、保育者としての資質を高めることをねらいとする。 【到達目標】 ①身体表現・音楽表現について文化的教養を身につける②状況に応じバリエーション豊かな表現活動を提供できるようになる③方法論だけでなく、表現の本質に気づく視点を養う						
授業の方法等	実技、講義、ビデオ視聴、グループワーク						
授 業 計 画	1	オリエンテーション ダンスと文化					
	2	ダンスアラカルト リズムの共有(縦ノリのダンス)					
	3	ダンスアラカルト リズムの共有(ボディパーカッション)					
	4	ダンスアラカルト 手で表現する(言葉を伝える)					
	5	ダンスアラカルト 手で表現する(イメージを伝える)					
	6	ダンスアラカルト リズムの楽しさを味わう(ステップ)					
	7	ダンスアラカルト リズムの楽しさを味わう(フレーズ)					
	8	ダンスアラカルトまとめ 作品作り・発表					
	9	リトミック(リトミックとは)					
	10	リトミック(即時反応)					
	11	リトミック(流れのある活動)					
	12	授業のまとめ					
成績評価の基準と方法	■期末試験〔レポート〕40% ■授業への取り組み・態度 60%						
教科書	使用しない						
参考書							
予習・復習・課題など	日常から身体表現や音楽表現に興味を持って、音楽・映像鑑賞、パフォーマンスを観る等、積極的に表現に触れる機会を作ってください。配布資料の整理しておくこと。						
関連科目	幼児体育、身体表現、音楽、音楽表現、図画工作、造形表現、子ども文化演習ABC						
質問受付の方法	オフィスアワーにて受付けます。(日時研究室前に掲示)						
履修上の注意	1.運動できる服装で臨むこと。2.内履き、外履きをロッカーに準備すること。3.プリント等はすべてA4判2穴ファイルに整理、保存すること。4.授業実施場所の変更や準備するもの等については教員の指示を良く聞くこと。						

授 業 科 目 名	音楽表現			教 員	福泉 博子・山邊 樹久生		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	合唱 合奏 器楽奏法 発声法 指揮法 振り付け						
授 業 の 概 要	こども達が生活や遊びの中で音楽に親しみ、楽しむことで豊かな感性や創造性が生まれます。合唱や合奏をはじめ、様々な音楽の力を使ってこどもたちの心を育てる方法を学び、習得します。また、授業の成果を12月に実施するクリスマス会(学校行事)においてステージ発表をし、地域に公開します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 合唱、合奏活動を通じて歌唱法やこどもが使う各種楽器の奏法を学び、保育者に必要とされる指導技術を身につけます。また、クリスマス会の準備を通して園行事(音楽会)の流れを習得します。 【到達目標】 ①表現が目指すもの、もたらすものを理解し、音楽の力がこどもに与える影響を理解する。②地域公開に耐え得る水準の高い演奏を目指します。③クリスマス会に向けて仲間と協力し、向上心を持って取り組むことができるようにする。						
授業の方法等	演習形式で行います。前半は1学年の全学生を2グループに分け、「楽器奏法」の授業と「こどもの発達と音楽表現」の授業を45分ずつ行います。後半は合唱、合奏に分かれて授業を行います。						
授 業 計 画	1	オリエンテーション(音楽表現とは何か こどもの発達と音楽表現)					全体合唱
	2	やさしい鍵盤楽器の奏法(電子ピアノ キーボード)					こどもの発達と音楽表現①
	3	やさしい吹奏楽器の奏法(鍵盤ハーモニカ リコーダー)					こどもの発達と音楽表現②
	4	やさしい打楽器の奏法(木琴 鉄琴 カスタネット タンバリン すず 他)					こどもの発達と音楽表現③
	5	指揮法(2拍子 3拍子 4拍子 6拍子) 全体合唱					
	6	クリスマス会の演奏曲目決定 学生指揮者、ピアノ伴奏者、合唱、合奏などの担当者決め					
	7	全体合唱、グループに分かれての合奏・合唱の練習 (練習は指揮者やリーダーが中心となって進めます)					
	8	・合奏担当者は個人練習やパートごとの練習を中心に行う。					
	9	・合唱担当者は合唱練習、振り付けなどの練習					
	10	グループ練習 合唱・合奏合同練習					
	11	グループ練習 (合同練習での問題点の見直しと調整)					
	12	合同練習					
	13	クリスマス会通し練習					
	14	クリスマス会リハーサル					
	15	クリスマス会の振り返り レポート作成・提出					
成績評価の基準と方法	■期末試験〔実技(合唱・合奏)〕60% ■授業への取り組み・態度(クリスマス会を含む)30% ■提出物(レポート)10% ※クリスマス会欠席で20点減点、授業欠席1回で2点減点						
教科書	プリントを配布します。						
参考書	特になし。						
予習・復習・課題など	合唱や合奏の個人練習やパートごとのグループ練習が必要です。 クリスマス会前には授業時間以外で練習をする場合があります。						
関連科目	音楽 身体表現 子供文化演習C						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	発表を成功させるためには、一人一人が自覚と向上心をもって取り組まなくてはなりません。互いに協力し合ってよい演奏ができるように心がけましょう。						

授 業 科 目 名	子どものうたと遊び			教 員	竹ノ谷 トミ子		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	○「うた」(生活・季節・幼児の喜ぶ歌、手話)、○「手遊び・指遊び・身体遊び・わらべ歌」、○「絵本・紙芝居」						
授 業 の 概 要	「子どものうたと遊び」「絵本・紙芝居」の楽しさ、特性、使い方、読み聞かせ・演じ方を学び、指導の心構えや指導方法を理解する。また、演習(個人・グループ発表)を通じ、指導技術を習得する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】本科目に関する幼児の特性を認識し“幼児が日常生活の中で、「うたや手遊び」「絵本や紙芝居」をどのような場・方法で働きかけたら、楽しむことができるか”演習を通じ、保育者として身につけるための具体的な指導技術や方法を学び、保育実践力を高める。 【到達目標】人前で発表し合い、課題「うた・手遊び集」「絵本・紙芝居リスト」に取り組むことで、「うたや遊び」「読み聞かせ」のポイントを再確認し、「うた・手遊び」「絵本・紙芝居」の教材研究を深めながら、指導法を体得し、保育実習・実践の場で積極的に実践することができる。						
授業の方法等	○講義 ○主に演習(実技・発表)形式 ○発表(個人・グループ) ○課題「オリジナル作品集」作成提出						
授 業 計 画	1	オリエンテーション「うた、手遊びの目的」、「絵本・紙芝居の魅力、特徴、意義」					
	2	「うた・手遊びの意義と分類」「絵本の選び方・与え方」[演習]					
	3	「歌、手遊び指導の心構えと演習」「絵本読み聞かせノの実践」[演習]					
	4	「うた・手遊びの使い方と演習」「紙芝居の選び方・演じ方・ビデオ視聴」					
	5	「うた・手遊びの使い方と演習」「紙芝居の演じ方実践」					
	6	「うた・手遊びの使い方と演習」「紙芝居の演じ方実践」					
	7	「うた・手遊び」が子どもに喜ばれる要因・演習、「絵本・紙芝居リスト」作成					
	8	「生活の歌、季節の歌、幼児の好きな歌、手話ソク」の指導法と演習、課題「歌・手遊び集作成」					
	9	グループ演習「うた・手遊び・絵本・紙芝居」名を決め、発表方法を工夫する					
	10	グループ演習「うた・手遊び・絵本・紙芝居」の役割を決め、演出・発表方法を工夫する					
	11	演習「うた・手遊び・絵本・紙芝居」グループ発表					
	12	保育と絵本・紙芝居、課題「絵本・紙芝居リスト」提出					
	13	演習「うた・手遊び・絵本・紙芝居」個人発表(前半)					
	14	演習「うた・手遊び・絵本・紙芝居」個人発表(中間)					
	15	演習「うた・手遊び・絵本・紙芝居」個人発表(後半)、課題「オリジナルうた・手遊び集」提出					
成績評価の基準と方法	■期末試験〔レポート〕20% ■授業への取り組み・態度(欠席は減点対象)20% ■提出物(「うた・手遊び集」及び「絵本・紙芝居リスト」)60%						
教科書	毎回参考資料・「うた・手遊び」または「絵本・紙芝居」を紹介します						
参考書	「うたって楽しい手あそび120」ポプラ社、改訂保育内容『言葉』言葉とふれあい、言葉で育つ(東洋館出版社)						
予習・復習・課題など	○課題に向け「うた・手遊び資料」(ポイントを加え)を毎回分類・整理し、指導法を確認する(授業時間外) ○課題「絵本・紙芝居リスト作成」、絵本の下読み、読み合わせ等も各自図書館等利用し、授業時間外でも、積極的に取り組みながら、授業に臨んでください。						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 教育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	授業時、授業終了後、随時受け付けます						
履修上の注意	○課題「うた・手遊び集」作成用で、分類・追加可能なファイルを用意すること(穴あけパンチ・パンチ補強シールも用意) ○課題「絵本・紙芝居リスト」作成用ノート(A4)を用意すること						

授 業 科 目 名	教育方法・技術論			教 員	新井 英人		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	保育方法、保育内容、遊びや生活への援助						
授 業 の 概 要	教育現場では地域から信頼され、確かな指導力を身に付けた教員が求められます。この授業では、幼稚園教育として幼児の発達を促す保育の方法や技術を理論的・実践的に探求し、刻々と変わる保育ニーズに対応できる実践力の基礎を培う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】幼稚園教育は幼児期の特性をとらえ、子どもが主体となりさまざまな保育方法や環境を通して行うことをこの授業の中で理解できるようにする。 【到達目標】上記のねらいを達成するために、地域社会に貢献できる幼稚園教諭の養成とその基礎となる知識や教育方法について理解するために、各単元毎にレポート等確認し専門性を高めます。						
授業の方法等	講義形式が中心ですが、できるだけ具体的なことを提示したりビデオも取り入れるなど、理解を深めていきます。 授業内にレポートの提出を求めることがよくあると思ってください。						
授 業 計 画	1 保育方法の基本を考える 2 乳幼児理解と保育方法 3 さまざまな主義に基づく保育 4 保育形態をどう考えるか 5 園でのこどもの「遊び」「生活」をどう援助するか 6 カリキュラムと保育方法 7 指導計画と保育方法 8 実習指導計画と保育方法 9 実習日誌から考える保育方法 10 園行事について考える 11 実際の行事の展開から考える 12 環境としての「遊具」の考え方 13 保育におけるメディア等の考え方 14 家庭との連携 15 保育者同士の連携						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕40% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 40%						
教 科 書	「保育方法の探求」 大学図書出版 浅見 均・田中正浩 編書						
参 考 書	文部科学省「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 厚生労働省「保育所保育指針解説書」フレーベル館						
予習・復習・課題など	予習：授業は教科書に沿って進めるので、必ず目を通しておくこと。 復習：ノートの作成と整理。						
関 連 科 目	保育・教育実践演習						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員へ直接聞いてください。						
履 修 上 の 注 意							

授 業 科 目 名	保育・教職実践演習 (幼稚園)			教 員	橋本 淳一・上田 厚作		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	保育者としての資質・能力 グループワーク 模擬授業 ビデオ録画 つどいの広場						
授 業 の 概 要	幼稚園教諭・保育士として求められる使命感や責任感、社会性や対人関係能力、幼児理解や学級経営、保育内容等の指導力などに関する事項について、ロールプレイングやグループ討議、フィールドワーク(保育実践)、グループワーク、模擬授業などの方法を取り入れながら授業を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園教諭・保育士として最小限必要な資質能力の全体について、確実に身につけるとともに、その資質能力の全体を確認する。 【到達目標】 学生が、教員・保育者となる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、不足している知識や技能等を補い、その定着を各自で図る。						
授業の方法等	講義、演習、ディスカッション、フィールドワーク、ロールプレイ、グループワークと多様な形式で進めます。幼稚園・保育所・つどいの広場等での保育実践(フィールドワーク)やロールプレイではビデオ撮影を行い、リプレイします。						
授 業 計 画	1	これまでの教育実習・保育実習における学修の振り返りについて (履修カルテⅠ・Ⅱの作成)					
	2	自らの幼稚園教諭・保育士としての資質の確認と自己課題の設定					
	3	教職や保育職の意義や役割、職務内容、子どもに対する責任、あるいは、社会性や対人関係能力等についてのグループ討議					
	4	保育内容等の指導法・指導力についてのグループ討議					
	5	保育内容等の指導法・指導力についてのロールプレイ(模擬授業)による探求①					
	6	保育内容等の指導法・指導力についてのロールプレイ(模擬授業)による探求②					
	7	幼児理解や学級経営についてのグループ討議					
	8	幼児理解や学級経営についてのグループワーク・フィールドワークによる探究①					
	9	幼児理解や学級経営についてのグループワーク・フィールドワークによる探究②					
	10	幼児理解や学級経営についてのグループワーク・フィールドワークによる探究③					
	11	幼児理解や学級経営についてのグループワーク・フィールドワークによる探究④					
	12	幼児理解や学級経営についてのグループワーク・フィールドワークによる探究⑤					
	13	幼児理解や学級経営についてのグループワーク・フィールドワークによる探究⑥					
	14	ロールプレイング・グループワークを通じた実践的指導力修得の確認					
	15	幼稚園教諭・保育士としての資質の確認とまとめ					
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔課題・発表〕80%						
教科書	特に使用しません。						
参考書	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
予習・復習・課題など	フィールドワーク(保育実践)は学外で行います。ロールプレイ(模擬授業)の事前準備は授業時間外に行ってください。						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 教育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅰ・Ⅱ 施設実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	履修カルテの作成とロールプレイ・保育実践でのビデオ撮影は必須です。						

授 業 科 目 名	音楽			教 員	福泉 博子・山邊 樹久生・数野 麻衣子 大導寺 俊平・町田 百合絵・福士 紗希		
開 講 時 期	通年	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修、幼稚園教諭免許選択必修						
授業内容を示すキーワード	ピアノ 弾き歌い 歌唱法 こども・幼児の歌 音楽理論 楽典 ソルフェージュ						
授 業 の 概 要	保育者として必要となる音楽の基礎的な知識、技能の理解と習得を目指します。そのため、音楽理論や楽典、歌唱法、ソルフェージュに関する授業を前期に、ピアノや弾き歌いなどの個人レッスンを後期の授業で実施し、音楽全般について総合的に学習します						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園や保育所などで歌わせる「こども・幼児のうた」の特性を学び、ピアノで弾き歌いをしながら幼児の指導ができるレベルを目指します。 【到達目標】 前期では基本的な音楽の知識の習得と、生活のうたの習得を目標とし、後期では、遡及者はバイエル教則本の95番まで、中級者はバイエル教則本全曲終了、上級者はソナタアルバムが弾けるようにすることを目標とします。 保育士資格試験(国家試験)保育実習理論音楽問題の60%が正答できるようになります。						
授業の方法等	演習形式で行います。前期は各グループで初級者と中・上級者に分かれ、生活の歌などの弾き歌いや、音楽理論・楽典に関する授業を受けます。後期は毎週ピアノの個人レッスンを受けます。前期は音楽理論の筆記試験、後期は発表会形式でピアノと弾き歌いの実技試験を行います。						
授 業 計 画	1	オリエンテーション 授業内容の説明		16	オリエンテーション(目標 内容 授業形式の説明)		
	2	音名・ト音・ハ音記号の理解 弾き歌い「あさのうた」		17	学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスン		
	3	譜表・音符・休符の理解 弾き歌い「おべんとう」		18	【初級者の教則本(バイエル)及び学習事項】		
	4	拍子とリズムの理解 弾き歌い「おかえり」		19	・低音部譜表の習熟 ・臨時記号の習熟		
	5	幹音と派生音 変化記号の理解 弾き歌い「さよなら」		20	・拍子の理解と習熟 ・スラー、マルカート奏法		
	6	調号と臨時記号 生活の歌「歯をみがきましょう」		21	・拍子の理解と習熟 ・音階 調性 調号		
	7	反復記号・省略記号 生活の歌「おかたづけ」		22	#系の音階とb系の音階		
	8	強弱 速度 発想記号 生活の歌「先生とおともだち」		23	長音階と短音階		
	9	音階 調性 生活の歌「おててをあらいましょう」		24	【中級者の教則本】		
	10	和音① 生活の歌「ハッピー・ハースディ・トゥ・ユー」		25	ソナチネアルバム ブルグミュラー、		
	11	和音② 季節の歌・こどものうた		26	または同レベルのピアノ曲		
	12	コードネーム① 季節の歌・こどものうた		27	【上級者の教則本】		
	13	コードネーム② 季節の歌・こどものうた		28	ソナタアルバム、または同レベルのピアノ曲		
	14	伴奏法① 季節の歌・こどものうた		29	弾き歌いまとめ(生活、季節、行事、式典)		
	15	伴奏法② 季節の歌・こどものうた		30	後期実技試験(ピアノ・弾き歌い)リハーサル		
成績評価の基準と方法	■期末試験〔前期:筆記50%・実技(歌唱)30% / 後期:実技(ピアノ演奏40%・弾き歌い40%)〕各期80% ■授業への取り組み・態度(欠席1回で2点減点) 各期 20% ※前期と後期の平均。						
教科書	全員購入「こどものうた 100」(チャイルド本社) 「全訳(標準)バイエルピアノ教則本」(全音楽譜出版社) 各自の進度に応じた教則本						
参考書	保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 具体的には、授業時に各自の進度に合わせて担当教員より指示します。						
予習・復習・課題など	ピアノや弾き歌いは、毎日の個人練習が必要です。						
関連科目	ピアノA 音楽表現						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	配布プリントはA4ノートに貼り、整理しておくこと。ピアノレッスンを受けるときは爪が伸びていないか注意をすること。						

授 業 科 目 名	図画工作			教 員	橋本 夏夫		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修、幼稚園教諭免許選択必修						
授業内容を示すキーワード	「基礎的な技法の習得」「身近な材料」「素材の特性」「ゆっくり丁寧に」						
授 業 の 概 要	さまざまな描画や制作を実践して、道具や材料の基礎的な扱い方を身につけます。描くことや作ることの楽しさを体験しながら制作することへの理解を深めます。さらに制作することの楽しさを子どもに伝えられる力を身につけます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 基礎的な図画工作の技法を習得する。身近にあるものを使って作ることの楽しみを体験し、作ることに対する理解を深める。ゆっくりと丁寧に制作することができるようになる。 【到達目標】 多くの技法を身に付けることによって、表現力の幅を広げ制作に自分なりの工夫を凝らせるようになる。将来の指導者として制作の楽しさを子どもたちに伝えられるようになる。						
授業の方法等	実技を主体とした授業です。ほぼ毎回新しい技法で授業展開しますので出席を重視します。毎回の授業内容を作品とともにスケッチブックにまとめ、学期末に提出があります。						
授 業 計 画	1	ガイダンス・授業内容の説明 実技:フロッター・ジュとコラー・ジュ(こすりだし技法を通して表現の楽しさを味わう)					
	2	デカルコマニー・糸引き版画(簡単な技法で偶然に出来た、色や形を楽しむ)					
	3	パチック・スクラッチ(クレヨンと絵の具の性質を知り、応用して制作する)					
	4	ステンシル・スパッタリング(多様な技法を知り、応用して制作する)					
	5	染め紙・マブリング(多様な技法を知り、応用して制作する)					
	6	スタンピング・ローリング・ドリッピング(多様な技法を知り、応用して制作する)					
	7	張子の帽子制作・デザインの決定と下地の制作(ゆっくりと丁寧に一つの作品を制作することを体験する)					
	8	張子の帽子制作(ゆっくりと丁寧に一つの作品を制作することを体験する)					
	9	張子の帽子制作・仕上げ作業(ゆっくりと丁寧に一つの作品を制作することを体験する)					
	10	簡単ウチワ制作(これまでに学んだ、基礎実技を応用して制作する)					
	11	カード制作(簡単な工夫で平面から立体を立ち上げることを知り、表現の幅をひろげる)					
	12	折り紙をつなげて遊ぶ・紙と澱粉糊とハサミを使った表現(ハサミの使い方・糊付けの方法を知る。)					
	13	ドーナツふたつ・おいしいものを描こう(興味あるものを題材とした描画・クレヨンと水性絵の具の使い方)					
	14	ぶんぶんゴマと登り人形(簡単な仕掛けの動くおもちゃ1.)					
	15	体操人形とトコトコ馬の制作(簡単な仕掛けの動くおもちゃ2.)					
成績評価の基準と方法	■期末試験〔その他(作品提出・配布プリントをまとめ、添付したスケッチブックの提出)〕60% ■授業への取り組み・態度 40%						
教科書	使用しない。毎回プリントを配布する。						
参考書	使用しない。毎回プリントを配布する。						
予習・復習・課題など	授業内で必要な準備(制作のプランや必要な材料の用意)は予習として各自が事前に行うこと。課題により制作に必要な材料の持参を求める場合があります。制作物はすべてスケッチブックにまとめ学期末に提出を求めます。						
関連科目	造形表現・子ども文化演習C劇						
質問受付の方法	オフィスアワーを含めて、随時受け付けます。						
履修上の注意	1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨むこと。2.積極的な姿勢で授業に関わること。3.毎回の授業時に配布するプリントは、各自が注意点を記入し完成させ、スケッチブックに作品と共にまとめること。						

授 業 科 目 名	幼児体育			教 員	鴨志田 加奈		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修、幼稚園教諭免許選択必修						
授業内容を示すキーワード	幼児、体育、体操、運動、あそび、表現、遊具						
授 業 の 概 要	子どもたちが行う代表的な運動あそびを中心に、遊びの意義、子どもとのかかわり方、指導法について体験的に学ぶ。自分自身の身体性や表現力を高める。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 運動あそびについて保育者としての専門的知識・技能を身につける。自身の身体管理、表現力にも責任を持ち、保育者及び社会人として必要なマナー・常識・態度を身につける。 【到達目標】 ①子どもの運動あそびの意義について理解する②様々な運動あそびについて知り、それを実践できる③子どもへの援助、安全管理等、適切な配慮ができる④自ら元気よくからだを動かせるようになる						
授業の方法等	実技、講義、ビデオ視聴、グループワーク、ロールプレイ、授業内テスト						
授 業 計 画	1	オリエンテーション、運動あそびの意義、運動あそびにおけるねらいと配慮					
	2	幼児体操の理解					
	3	多様な動きの理解 サーキット遊びから					
	4	動きを調整する能力の理解（走りながら跳ぶ、ボールをよける）					
	5	遊び環境の理解① 遊びのスペース					
	6	遊び環境の理解② リスクとハザード					
	7	段階的指導法の理解					
	8	集団遊びの実践 / これまでの授業についての振り返り					
	9	伝承される運動遊び（映像視聴）					
	10	伝統的な運動遊び（文化的背景の理解）					
	11	伝統的な運動遊び（道具の準備）					
	12	伝統的な運動遊び（行事に向けて）					
	13	伝統的な運動遊び（省察）					
	14	水遊び（衛生・安全への配慮、環境構成）					
	15	水遊び / 授業のまとめ					
成績評価の基準と方法	■期末試験〔レポート〕40% ■授業への取り組み・態度 60%						
教科書	新版「遊びの指導 乳・幼児編」 幼少年教育研究所 同文書院 3,456円（税込）						
参考書	「幼児期運動指針ガイドブック」文部科学省 1,300円＋税						
予習・復習・課題など	教科書・参考書・資料・文献を読んでおくこと。 配布資料の整理しておくこと。						
関連科目	身体表現、リトミック・リズム運動、保育内容ABCD						
質問受付の方法	オフィスアワーにて受付けます。（日時研究室前に掲示）						
履修上の注意	1.運動できる服装で臨むこと。2.内履き、外履きをロッカーに準備すること。3.プリント等はすべてA4判2穴ファイルに整理、保存すること。4.授業実施場所の変更や準備するもの等については教員の指示を良く聞くこと。						

授 業 科 目 名	生活			教 員	野口 一夫		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭選択必修						
授業内容を示すキーワード	幼保小の連携 あそびも学習 自立の基礎 体験活動(地産地消・食育・エコ) 自然とあそぶ						
授 業 の 概 要	「生活科」は平成4年度から小学校低学年に新設された教科。この教科誕生の背景の一つに保育所や幼稚園のいわゆる幼児教育と小学校教育との接続・連携がある。授業では「生活科」の趣旨・内容の理解を通して、改めて幼児教育の特性を再認識し、保育の視点を明らかにすることができる。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】ファームで野菜を育てて現場で役立つ実践力を養い、自然(風・音)と遊びながら、「エコカルタづくり」を通して環境との関わりを学び、保育園・幼稚園と小学校の連携のあり方を習得する。 【到達目標】幼児教育と小学校教育との接続・連携の重要性を認識し、幼児教育の特性を再認識するとともに「自立の基礎を養う」意義を理解することができる。						
授業の方法等	ファームでの観察(土づくり、追肥、除草、収穫、収穫祭) VTR・DVD視聴 PRでの実践等						
授 業 計 画	1 「生活科」とは、なぜ学ぶのか ～あそびも学習 VTR視聴 2 「生活科」で行う学習 ～教科書から 3 苗、種の観察 ～観察カードの書き方 4 みんなで育てよう！野菜植え 自然とあそぼう①～笹舟・草笛・紙笛 5 幼児教育と生活科 ～野菜植えと観察 6 生活科で育つ能力・態度 ～除草・追肥・芽かき 7 自然とあそぼう②～折り紙とコーキ・発泡スチロールペーパー 8 野菜の観察と気付き ～ファームで ネイチャーゲーム 9 生活科と環境① エコカルタの企画 環境関連DVD視聴 10 生活科と環境② エコカルタ作成 11 生活科と環境③ エコカルタあそび 12 実践と展開① エコ(ゴミ箱・バッグ)づくり 13 実践と展開② DVD(エコクッキング)視聴と準備 14 実践と展開③ エコクッキング～収穫野菜でバーベキュー 15 ポップコーンパーティ 振り返り アンケート						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度(欠席は減点対象)10% ■提出物(レポート)30%						
教 科 書	不使用						
参 考 書	○啓林館「生活科」教科書 野口一夫 共著 ○「子供と創る楽しい授業」野口一夫 共著 ○「生活科指導」ビデオ 野口一夫他製作 ○「環境・エコへの道標」野口一夫 著						
予習・復習・課題など	毎回レポートを提出し、採点して次回に返却。確認してファイルに保管。特に欠席した場合は担当教員に相談し、適切な処置を早急にとること。						
関 連 科 目	子ども文化演習B(自然とあそび) レクリエーション・野外活動						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員 随時						
履 修 上 の 注 意	レポートは毎回提出 レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意 ※ファームで活動ができる服装(ジャージ、スニーカー等) 色鉛筆						

授 業 科 目 名	総合演習			教 員	橋本 夏夫・相沢 和恵 鴨志田 加奈・橋本 淳一		
開 講 時 期	通年	配当年次	1・2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	体験学習、行事、園行事、キャリア教育、コミュニケーション能力、ナチュラル保育検定、山短テキスト						
授 業 の 概 要	基礎演習に引き続き、体験学習、行事に向けた事前の準備・事後のふりかえりを中心に、学生としての基本的な生活態度・学びの方法・挨拶、マナー、コミュニケーション能力等を一層向上させ、社会人としての使命感を自覚し、望ましい職業観等について学習します。 2年次での週1回の授業に加え、1年次及び2年次当初における宿泊研修、体験学習（動物飼育又は里山保全）が必須です。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】行事の企画・運営を通して園行事の実践的な能力を習得し、宿泊研修や体験学習を通じて保育者として必要な資質を向上し社会人としての自覚や職業観を習得できます。 【到達目標】(1)幼稚園、保育園などで実施される行事の企画・運営に必要な実践的な保育能力を身につけることができる。(2)宿泊研修や体験学習等を通して社会人として必要な職業観・使命感等を身につけることができる。						
授業の方法等	学内での講義、演習、グループワーク、学外でのフィールドワーク、体験学習など多様な授業形態で実施します。						
授 業 計 画	1	カリキュラム理解・宿泊研修振り返り・サークル紹介	13	後期オリエンテーション、建学の精神表彰			
	2	クラスゼミ（山緑祭準備）、個人面談	14	クラスゼミ、個人面談			
	3	クラスゼミ（山緑祭準備）、個人面談	15	運動会			
	4	クラスゼミ（山緑祭準備）、個人面談	16	保育士資格・幼稚園教諭免許申請手続き			
	5	防災避難訓練、学生総会、交通安全講習会	17	双子ちゃん集まれ			
	6	クラスゼミ（山緑祭準備）、個人面談	18	実習報告会（1・2年合同）			
	7	クラスゼミ（山緑祭準備）、個人面談	19	クリスマス会準備（全体）			
	8	クラスゼミ（山緑祭準備）、個人面談	20	クラスゼミ（クリスマス会準備）			
	9	ナチュラル保育検定①	21	クラスゼミ（クリスマス会準備）			
	10	山緑祭準備	22	ナチュラル保育検定②			
	11	山緑祭後片づけ	23	クラスゼミ（クリスマス会準備）			
	12	クラスゼミ、個人面談	24	クリスマス会リハーサル			
			25	クリスマス会振り返り			
			26	学習成果発表会、「建学の精神」等アンケート			
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度(行事欠席1回で10点減点、授業1回欠席で2点減点します。) 50% ■提出物 50%						
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。						
参考書	適宜指示します。						
予習・復習・課題など	様々な体験学習や行事、フィールドワークの事前・事後学習のため、授業時間外でもクラス・グループ・個人による活動・準備が必要となる場合があります。						
関連科目	基礎演習、スキルアップセミナーⅡ、実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、子ども文化演習C						
質問受付の方法	各担任に随時聞いてください。						
履修上の注意	総合演習（第1時限）とスキルアップセミナーⅡ（第2時限）は、行事や実習の日程に合わせて2時限連続で一体的に授業展開する場合があります。						

授 業 科 目 名	カウンセリング論			教 員	相馬 彌生		
開 講 時 期	前期	配当年度	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	カウンセリングの理論・ふれあいのある人間関係作り・仲間同士の助け合い						
授 業 の 概 要	カウンセリングの諸理論や技法について演習を伴った講義により、それらの特徴などを知るとともに、体験的に自己や他者理解を深める。また、カウンセリングやピアヘルピングを活用した援助的な関わり方に慣れ親しむ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1 カウンセリングの諸理論について学び、自己を中心とした人間理解を深める。 2 学んだ理論や技法を日常生活の中で実践し保育者としての資質向上を目指す。 【到達目標】 カウンセリングの諸理論や体験に即して自己を振り返ることで、自分について受容的に理解できるようになる。それは、ひいては思いやりのある他者との関係作りにもつながり、実生活や仕事に生かしていけるはずである。						
授業の方法等	講義中心であるが、各々の理論を保育者視点に立って演習等を行い体験的に学ぶ機会も多い。また、時々の復習問題で学習内容の定着を図ります。						
授 業 計 画	1	ガイダンス、カウンセリンとピアヘルピングについて、カウンセリングの技法について、					
	2	カウンセリングの定義や種類、ピアヘルピングの考え方、構成的グループエンカウンターとは					
	3	カウンセリング理論「精神分析理論①～フロイト・性格形成について～」					
	4	カウンセリング理論「精神分析理論②～防衛機制・精神分析療法～」					
	5	カウンセリング理論「自己理論①～ロジャーズ・自己不一致～」					
	6	カウンセリング理論「自己理論②～来談者中心療法～」					
	7	カウンセリング理論「行動理論～刺激と反応・学習理論～」					
	8	カウンセリング理論「交流分析理論～エリックバーン・エゴグラム～」					
	9	カウンセリング理論「ゲシュタルト療法理論～パールズ・ルビンの盃～」					
	10	カウンセリング理論「論理療法理論～エリス・イラショナルビリーフ～」					
	11	カウンセリング理論「実存主義的アプローチ～フランクル・体験重視～」					
	12	ピアヘルピング概論					
	13	ピアヘルピングのスキル					
	14	青年期の課題とピアヘルパーの留意点					
	15	学習の振り返りとまとめ					
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕50% 授業への取り組み・態度 30% ■提出物 20%						
教科書	國分康孝著「カウンセリングの理論」(誠心書房)、2014年、2300円 日本教育カウンセラー協会編「ピアヘルパーハンドブック」(図書文化社) 2008年、1500円						
参考書	日本教育カウンセラー協会編「ピアヘルパーワークブック」(図書文化社)、2008年、1500円						
予習・復習・課題など	特にカウンセリング理論は高度な内容も含まれるので、教科書を繰り返し読んで理解する。役に立つノートのとり方や資料の整理を工夫する。						
関連科目	保育の心理学Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	授業終了直後、または講師控室での対応(12:30～12:50&14:30～15:30)						
履修上の注意	ピアヘルパー資格取得の条件です。 家族や友達、仕事での付き合いなど人と関わる時役に立つ内容です。「知っている」と得と考えて進んで学び身に付けてください。						

授 業 科 目 名	乳児小児救命法			教 員	橋本 夏夫・マスターワークス		
開 講 時 期	後期集中	配当年次	1・2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	乳児、小児、救命法、心肺蘇生法、けが・事故・病気、手当						
授 業 の 概 要	こどもの緊急時に最も重要なことは、生命の危機が迫っている場合の呼吸、循環の管理であり、次いで重い後遺症により以降の生活にかかわる可能性がある場合（脳障害や頸椎損傷など）である。本授業はこれらの優先順位に基づき、現場の手順に沿って講義、実習を進める。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】この授業の目的は、乳幼児の保育現場における事故防止と、万一の緊急時に医師や救急隊に引き継ぐまでの応急手当を習得することである。 【到達目標】資格を取得することができる。 全ての授業に出席することにより、希望者はL.S.F.A.-Children'sプログラムの「FIRSTAIDER with CPR Training Certificate」認定カードを申請し、取得することができる。 認定を取得すると、L.S.F.A.本部により2年間にわたり訓練内容が証明される。						
授業の方法等	こどもの事故や急病における現場の行動手順に沿い、Step-bay-step で進める。短時間の講義を行った後、該当する実技演習を行う。なお心肺蘇生については2010年末に改訂されたガイドラインの内容を反映するため、追加冊子を使用した実習を行う。						
授 業 計 画	1	3日間集中授業で下記の講義と実習を行う。					
	2	(第1日)					
	3	1. こどもの事故の現状と応急手当の必要性					
	4	2. こどもの事故防止					
	5	3. 医師や救急車への連絡、119番口頭指導について					
	6	4. 事故現場の観察と接触（安全確保、感染予防）					
	7	5. 生の徴候の調査（反応、呼吸、出血の調査）					
	8	6. 反応がないこどもの手当（気道確保と回復体位）					
	9	7. 心肺停止の手当（乳児、小児の心肺蘇生/CPR）					
	10	8. 心肺蘇生と除細動（小児のデモンストレーション）					
	11	(第2日)					
	12	9. 気道内異物の除去（乳児、小児）					
	13	10. 止血とショック管理（止血法、保温法）					
	14	11. 全身のけがの調べ方					
	15	12. 各部のけがと応急手当（傷と包帯、骨折、脱臼、打撲など）					
	16	13. こどもの急病の調査（脈拍、呼吸、体温、顔色など）					
	17	14. こどもの病気の手当（発熱、けいれん、腹痛、脱水、アナフィラキシー、中毒など）					
	18	(第3日)					
	19	15. 生物によるけが、こどもの虐待、災害時の注意					
	20	16. 心肺蘇生実技評価セッション（乳児、小児）					
	21	また、単位取得にあたり、3日間の集中講義に加え、事前指導・事後指導の授業にも参加すること。					
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
教科書	「こどもの事故と応急手当」第6版（吉田一心/伊東和雄 著、2017年1月1日発行） 出席にあたりテキストは必携である。 購入方法については後日指示する。						
参考書							
予習・復習・課題など	【復習】心肺蘇生法をはじめとして、その日の実習で学んだ方法を、テキストなしでできるように練習をしておく。						
関連科目	子どもの保健Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	研究室						
履修上の注意	運動できる服装・髪型で参加すること。遅刻・欠席をしないこと。						

授 業 科 目 名	子ども文化演習A・表現			教 員	尾崎 富美子		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	ポケットシアター パネルシアター 手作り教材 製作 表現 発表						
授 業 の 概 要	課題の「ポケットシアター」を製作し、完成させます。「パネルシアター」をグループ製作し、発表します。それぞれの文化財の特質を理解し、活用する方法を学びます。“自ら表現する”という保育には欠かせない活動を通して保育者としての資質を身につけていきます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育室で活用できる“しっかりした手作り教材”を作ること、簡単な裁縫技術を習得しましょう。グループ製作や発表をととして自らのかわる力を育てます。子どもとやりとりをする“表現的な視聴覚文化財”をととしてコミュニケーションをとるときに必要な態度、ことばを身につけましょう。 【到達目標】「ポケットシアター」を製作し完成させて人の前で演じる。「パネルシアター」の技術を習得し発表する。共に学ぶ仲間の中で自分の役割をつかみ、発表においては自らのあり方を考察し、学びを深めます。						
授業の方法等	演習授業です。先輩の作品や実際の実践場面をDVDなどで視聴し、理解したうえで進めます。製作を行うための準備や片づけに積極的にに関わり、作品を完成させます。「発表」の場だけではなく製作の過程を大切に、自ら計画的に取り組んで進めていきます。						
授 業 計 画	1 授業の進め方ガイダンス ・表現的視聴覚文化財の特質を理解する。 2 ポケットシアターⅠ ・エプロンシアターとの違いを理解し、実践方法について学ぶ 3 ポケットシアターⅡ ・材料を揃えて製作にとりかかる（個人製作） 4 ポケットシアターⅢ ・フェルト人形など小物の製作を行う 5 ポケットシアターⅣ ・エプロンを完成させ、12月の最終授業で提出する 6 声・動き・視線・立ち姿 「子どもとやりとりする表現」を復習する 7 パネルシアターⅠ ・パネルシアターの特質と制作、活用方法について学ぶ 8 パネルシアターⅡ ・課題の作品制作 9 パネルシアターⅢ ・課題作品の表現演習（グループ） 10 パネルシアターⅣ ・発表に向けて動きを考える 11 発表A パネルシアター発表 12 発表A パネルシアター発表 13 「保育者としての表現」を考える、ポケットシアター発表準備 14 発表B ポケットシアター発表 15 発表B ポケットシアター発表 まとめ						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔レポート〕35% ■授業への取り組み・態度 30% ■その他〔表現発表〕35%						
教 科 書	『簡単・たのしい・エプロンでつくるポケットシアター』尾崎富美子著（トロール出版部）						
参 考 書	必要に応じて資料を配布する。						
予習・復習・課題など	基本的な裁縫技術を復習しておくこと。授業内でポケットシアターの課題を終えられない場合は各自持ち帰って完成させること。発表前には必ず練習をすること。						
関 連 科 目	実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 教育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	授業時、授業終了後 随時受け付けます。						
履修上の注意	教材を各自で揃えて製作します。準備をすること。欠席、忘れ物をするとう進度に大きく響きます。欠席しないこと。						

授 業 科 目 名	子ども文化演習B・自然とあそび			教 員	菅原 きよみ		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	建学の精神、学園の歴史、浴衣作り、着付け、着物のたたみ方、マナー						
授 業 の 概 要	・学園の建学の精神や歴史を理解しながら、学園のルーツである和裁を体験し、自分の浴衣を製作する。 ・翌年の七夕に、自作の浴衣を着て、参加できるようにする。 ・七夕の前に補習を行い、着付け、ヘアースタイル、着物を着ているときの立ち居振る舞い等を学習する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ・学園のルーツに触れ、建学の精神を理解する。 ・実際に和裁に触れ、和の知恵を体験する。 ・自分の浴衣を完成させ、七夕で着ることにより、達成感と自信を身につける。 【到達目標】 ・学園の建学の精神、創立のルーツについて説明できる。 ・和裁の知恵が詰まった浴衣とその作り方を理解し、自分で浴衣を作ることができる。 ・子どもに浴衣を正しく着せることができる。						
授業の方法等	講義と演習方式						
授 業 計 画	1 柄合わせ、裁断 2 柄合わせ、裁断 3 袖標付け・袖下の縫い方 4 袖丸みの始末・袖口の三つ折りぐけ 5 見頃の標付け・背縫い・きせのかけ方 6 肩当て・居敷当ての裁断(新モス使用)・縫い方 7 肩当て付け・居敷当て付け 8 衽の標付け・衽付け(待ち針の打ち方・三つ衿芯の入れ方)・衽付け始末 9 衿下三つ折りぐけ・衿標付け・衿付け(待ち針の打ち方・三つ衿芯の入れ方) 10 衿付け・衿付け始末 11 共衿標付け・共衿付け・脇縫い 12 脇縫い始末 13 裾ぐけ(額縁の作り方) 14 袖付け・袖付け始末 15 仕上げ(完成確認・アイロンのかけ方)・着物のたたみ方						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔その他(ゆかたの完成提出)〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔単元ごとのできばえ〕30%						
教科書	和裁教本 ゆかた (著作者 山村学園創設者 山村 婦みよ先生) ※購入の方法については授業時に指示します。						
参考書							
予習・復習・課題など	和裁教本・配布プリントを読んでおくこと。各自の進度により、次回までの課題を指導するので進めておくこと。必要に応じて補習を行う。						
関連科目	子ども文化演習A・表現						
質問受付の方法	基本的に授業内で受け付ける。						
履修上の注意	翌年の七夕に着られるように製作を行う。七夕の直前で着付け・マナー指導等の補習を数回行う。後期授業開始前に、浴衣地の販売とガイダンス(授業計画・教材の説明・用具の使い方)を行う。						

授 業 科 目 名	子ども文化演習C・劇			教 員	鴨志田 加奈・橋本 夏夫・福泉 博子		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	総合的な表現、表現の過程、創造性、協働性、表現力、コミュニケーション、表現技術、保育者としての資質						
授 業 の 概 要	劇の特徴は、言語表現・造形表現・身体表現・音楽表現などを融合しながら、物語の世界を総合的に表現することです。この表現に対する総合的な捉えは、子どもたちのごっこ遊びやイメージの世界を理解する上で必要不可欠な視点です。 本授業では2年間の学びを活かしながら、子どもたちが鑑賞する事を目的とした劇を創作・実演します。子どもの心性に基づき意図をもって作品を創作すること、実際に自身が舞台上で表現することを通して、総合的な表現の重要性・表現の過程の重要性や演出法・制作技術・各種効果等を学び、保育者としての資質と専門性を高めていきます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】子どもたちが鑑賞する事を目的とした劇作品について意図をもって創作・実演する感性と具体的な技術を身につけること、この体験過程を通して自身の表現力、コミュニケーション能力、創造力、問題解決能力等の実態に気づき、それらに果敢に挑んでいく態度を身につけることをねらいとします。 【到達目標】①子どもの感性や総合的な表現の意義を理解する。②自身の表現力・表現技術を身につける。③演出法・制作技術・各種効果等について具体的な方法を身につける。④仲間との協働の重要性を理解し粘り強く取り組むことができる。⑤具体的な役割や計画のもとにプロジェクトを遂行できる。						
授業の方法等	講義、制作、実技、演習、発表、グループワーク						
授 業 計 画	1	オリエンテーション(子どもの心性と総合的な表現の理解)	劇制作組織を学ぶ	演出部の選出			
	2	全体ワークショップ①(演出法・制作技術・音響照明効果)	演出部:題材の検討・制作計画				
	3	全体ワークショップ②(ステージング、振付け、演技)	演出部:台本の作成				
	4	劇制作①全体:台本第一稿配布	物語・キャラクター理解	演出部:演出プランミーティング			
	5	劇制作②全体:本読み(5W1Hで台詞を捉える)		演出部:装置プランミーティング			
	6	劇制作③全体:シーン作り(役の関係性から考える動線)		道具係:制作			
	7	劇制作④全体:シーン作り(歌・踊りに意図を持たせるステージング)		道具係:制作			
	8	劇制作⑤全体:シーン作り(音響・照明の効果)		道具係:制作			
	9	劇制作⑥全体:シーン作り(芝居全体から見た部分の役割)		衣装ミーティング			
	10	劇制作⑦荒通し(全体を見通す)					
	11	全体調整ミーティング					
	12	通し(全体調整・制作過程について)(装置、衣装付き通し)					
	13	リハーサル(ゲネプロ)					
	14	本番映像鑑賞、片付け					
	15	省察・授業のまとめ	※発表本番は総合演習のクリスマス会で行います				
成績評価の基準と方法	■期末試験〔レポート〕40% ■授業への取り組み・態度 60%						
教科書	使用しない						
参考書							
予習・復習・課題など	授業時間外の練習や制作に参加すること。グループ活動への積極的な参加、自主的な練習が必要です。						
関連科目	身体表現、音楽表現、造形表現、保育内容ABCD						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	授業及び授業外の練習において責任を持った態度を求めます。報連相に努め、チームの一員という自覚をもって取り組んでください。						

授 業 科 目 名	レクリエーション・野外活動			教 員	新井 英人・井上 満		
開 講 時 期	前期	配当年度	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	自然、グループリーダー いつでもだれでも						
授 業 の 概 要	自然を直接体験するプログラムや各種のゲームを体験しながら、仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付けることができる。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育所・幼稚園で活用できるレクリエーション・野外活動を、ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験しながら身に付け、骨太な保育士・幼稚園教諭の養成とその基礎を培うことをねらいとします。 【到達目標】 ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験する中で、リーダーとしての資質を向上させ、園での円滑な仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付けさせることを目標とします。						
授業の方法等	グループリーダーを中心に、個人、少人数、大勢とバリエーションを変えながら楽しく活動する。						
授 業 計 画	1 ネイチャーゲームの概要、講義内容について、仲間作りゲーム 2 動物の特徴に気付くネイチャーゲーム 3 生き物の知恵に気付くネイチャーゲーム 4 観察力を高めるネイチャーゲーム、ネイチャーゲームの理念 5 身近な自然の美しさや不思議さに気付くネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム実践法 6 他の人の感性に気付くネイチャーゲーム、安全対策 7 生き物の生態について考えるネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム指導員制度 8 現場で使えるネイチャーゲーム、実践例を読む 9 感覚を研ぎ澄ますネイチャーゲームと指導実習 10 全体のふりかえりとまとめ、(リーダー登録者は検定試験を兼ねる) 11 レクリエーション パート1 歌遊びゲーム 12 レクリエーション パート2 頭のゲーム 13 レクリエーション パート3 体を使って遊ぶゲーム 14 レクリエーション パート4 手遊びゲーム 15 レクリエーション パート5 野外ゲーム						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔レポート〕80% ■授業への取り組み・態度 20%						
教 科 書	「こどもと自然とネイチャーゲーム」 1,650円 ※購入方法については授業時に指示します。						
参 考 書							
予習・復習・課題など	復習：実習で行ったアクティビティの“ねらい”を再確認しましょう。配付されたプリント類にはもう一度目を通しましょう。 予習：キャンパスの自然のなかで、「五感」で気付いたものを一つ見つけてみましょう。						
関 連 科 目							
質 問 受 付 の 方 法	指導員、担当教員 随時						
履 修 上 の 注 意	運動ができる服装、シューズを用意する。資格取得には若干の費用が掛かります。						

授 業 科 目 名	ピアノA			教 員	山邊 樹久生・数野 麻衣子 大導寺 俊平・町田 百合絵・福土 紗希		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	ピアノ 弾き歌い 個別学習 習熟度別学習						
授 業 の 概 要	保育現場で必要とされる鍵盤楽器(ピアノ)の奏法を学びます。ピアノ未経験者から上級者まで、個々のレベルに合わせたレッスンを行います。初級者はバイエルなどの教則本を使い初歩的技術の習得を、中・上級者はソナチネなど様々な楽曲を用いて総合的な音楽力を身につけます						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】読譜力を身につけ、正しい運指法、打鍵法で演奏できるようにします。幼稚園・保育所等で歌う「こども・幼児のうた」を弾き歌いできるレベルを目指します。 【到達目標】初級者はバイエル85番、中級者はバイエル終了を到達目標とし、上級者はソナチネ・ソナタなどが弾けるようにします。また、園で歌われる生活の歌や季節の歌、童謡などが弾き歌いできることを目標とします。						
授業の方法等	演習形式で行います。個人レッスンを毎週行います。 ピアノ、弾き歌いとも個々の進度に応じ難易度別に設定される曲目をクリアしながら各自がレベルアップを図ります。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション 目標 内容 授業形式の説明 2 バイエル・ブルグミュラー・ソナチネアルバム等、個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習 3 各自の進度に応じたピアノ練習曲、独奏曲、弾き歌い 4 各自の進度に応じたピアノ練習曲、独奏曲、弾き歌い 5 各自の進度に応じたピアノ練習曲、独奏曲、弾き歌い 6 各自の進度に応じたピアノ練習曲、独奏曲、弾き歌い 7 各自の進度に応じたピアノ練習曲、独奏曲、弾き歌い 8 各自の進度に応じたピアノ練習曲、独奏曲、弾き歌い 9 各自の進度に応じたピアノ練習曲、独奏曲、弾き歌い 10 各自の進度に応じたピアノ練習曲、独奏曲、弾き歌い 11 各自の進度に応じたピアノ練習曲、独奏曲、弾き歌い 12 各自の進度に応じたピアノ練習曲、独奏曲、弾き歌い 13 各自の進度に応じたピアノ練習曲、独奏曲、弾き歌い 14 各自の進度に応じたピアノ練習曲、独奏曲、弾き歌い 15 実技試験リハーサル(ピアノ、弾き歌い)						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔実技(ピアノ40%・弾き歌い40%)〕80% ■授業への取り組み・態度(授業欠席1回で2点減点)20%						
教科書	全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社) ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社) ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) 個人のレベルに合わせ各担当教員から指示があります。						
参考書	保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集						
予習・復習・課題など	ピアノや弾き歌いは毎日の個人練習が必要です。						
関連科目	音楽 音楽表現						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	楽譜に書き込みをしたりするので筆記用具を持参すること。 レッスンを受けるときは爪が伸びていないか注意すること						

授 業 科 目 名	ピアノB			教 員	福泉 博子・山邊 樹久生・数野 麻衣子 大導寺 俊平・町田 百合絵・福士 紗希		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	ピアノ 弾き歌い 伴奏法 基礎・基本確立 専門性向上						
授 業 の 概 要	「音楽」「ピアノA」における習得成果を踏まえ、ピアノ奏法や弾き歌い、和音やコードを使った伴奏付けなどに必要な技能を学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 音楽的な資質・能力を高め、実際に保育現場から求められる要求に応えられる専門性を身につけることができます。一方、習熟度の低い学生は、基礎的、基本的能力の向上を目指します。 【到達目標】 習熟度の低い学生はソナチネなどの曲が弾けるように、弾き歌いでは和音や分散和音を用いたこどもの歌が弾きこなせるようにする。中上級者はソナタや同等のピアノ曲の演奏、また、自分で童謡などに伴奏がつけられるようにする。						
授業の方法等	演習形式で行います。 各自の進度に応じた個人レッスンを行います。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション 各自の目標 授業内容の確認 2 ピアノ 弾き歌い 伴奏付けの個人指導を毎週行います。 3 打鍵法 運指法 4 拍子とリズム テンポ 5 曲想やフレーズについて 6 強弱法 音階法 7 伴奏法について 8 ・和音奏法 9 ・分散和音奏法 10 ・メロディと伴奏 11 調性と移調について 12 初見演奏練習 13 呼吸法と母音唱法 14 長音とソルフージュ 15 実技試験リハーサル (ピアノ・弾き歌い)						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔実技(ピアノ40%・弾き歌い40%)〕80% ■授業への取り組み・態度(授業欠席1回で2点減点)20%						
教 科 書	ソナチネアルバム1・2(全音楽譜出版社) ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) その他に個人のレベルに合わせ各担当教員から曲目の指示があります。						
参 考 書	保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集						
予習・復習・課題など	ピアノや弾き歌いは、毎日の個人練習が必要です。						
関 連 科 目	音楽 ピアノA						
質 問 受 付 の 法	随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	教員からの指示を楽譜に書き込めるよう、レッスンの時には筆記用具を持参しましょう。 弾きたいピアノ曲や弾き歌いがあったら積極的に担当教員に相談してください。						

授 業 科 目 名	スキルアップセミナーⅠ			教 員	室井 佑美・山村 穂高・上田 厚作 黒澤 一幸・新井 英人・福泉 博子		
開 講 時 期	通年	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	少人数指導、保育に関する専門性、自己理解						
授 業 の 概 要	前期は「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から数テーマに沿ってそれぞれのスキル(専門技術)アップを目指します。後期は、1・2年生合同で縦割りのグループを10前後編成し、各グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形態で学習・研究し保育スキルの向上を目指します。授業最終日には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】様々なスキルアップテーマや興味・関心を同じくするゼミの学習を通して、保育者として必要な専門的知識・技術を身につけ保育者としての自覚を高めることができます。 【到達目標】保育者に必要とされる知識・技術や協調性などを習得することによって、保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図ることができます。						
授業の方法等	前期はクラス単位又は学年単位でいくつかのテーマ別のスキルアップ講座を学習します。後期は行事の準備や1・2年生合同で縦割りで18人程度の少人数グループを編成しゼミナール形態での学習を展開します。						
授 業 計 画	1	オリエンテーション・サークル紹介・仮入部	16	後期オリエンテーション、ゼミ希望アンケート			
	2	クラスゼミ(保育に関するスキルアップ学習)	17	学習ゼミ①			
	3	クラスゼミ(保育に関するスキルアップ学習②)	18	運動会			
	4	クラスゼミ(保育に関するスキルアップ学習)	19	学習ゼミ②			
	5	防災避難訓練、学生総会、交通安全講習会	20	実習報告会			
	6	園見学①	21	施設見学1班／クラスゼミ2班			
	7	園見学②	22	クラスゼミ1班／施設見学2班			
	8	クラスゼミ(保育に関するスキルアップ学習)	23	学習ゼミ③			
	9	クラスゼミ(保育に関するスキルアップ学習)	24	山短テキスト効果測定②、学習ゼミ④			
	10	川越巡り	25	学習ゼミ⑤			
	11	クラスゼミ(山緑祭準備)	26	クリスマス会リハーサル			
	12	山短テキスト効果測定①、山緑祭準備	27	学習ゼミ⑥			
	13	山緑祭準備	28	学習ゼミ発表会、「建学の精神」等アンケート			
	14	山緑祭後片づけ、TDL事前学習					
	15	体験学習オリエンテーション、「建学の精神」等アンケート					
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度(スキルアップの学習 30%、行事 20%、ゼミナール 50%) 100% ※行事欠席1回で10点減点、授業1回欠席で2点減点します。						
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。						
参考書	適宜指示します。						
予習・復習・課題など	専門的な内容への取り組みとなりますので、授業時間外でもクラス・グループ・個人による活動・作業が必要となる場合があります。						
関連科目	基礎演習、総合演習、スキルアップセミナーⅡ						
質問受付の方法	各担任やゼミナール担当に随時聞いてください。						
履修上の注意	基礎演習(第1時限)とスキルアップセミナーⅠ(第2時限)は、学習内容によって1限目と連続で実施したり、同じテーマでもそれぞれの授業の違った観点から展開したりする場合があります。						

授 業 科 目 名	スキルアップセミナーⅡ			教 員	橋本 夏夫・相沢 和恵 鴨志田 加奈・橋本 淳一		
開 講 時 期	通年	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	少人数指導、保育に関する専門性、自己理解						
授 業 の 概 要	前期は「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から数テーマに沿ってそれぞれのスキル(専門技術)アップを目指します。後期は、1・2年生合同で縦割りのグループを10前後編成し、各グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形態で学習・研究し保育スキルの向上を目指します。授業最終日には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】様々なスキルアップテーマや興味・関心を同じくするゼミの学習を通して、保育者として必要な専門的知識・技術を身につけ保育者としての自覚を高めることができます。 【到達目標】保育者に必要とされる知識・技術や協調性などを習得することによって、保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図ることができます。						
授業の方法等	前期はクラス又は学年単位で責任実習等のテーマ別のスキルアップ講座を学習します。後期は行事の準備や1・2年生合同で縦割りで18人程度の少人数グループを編成しゼミナール形態での学習を展開します。						
授 業 計 画	1	オリエンテーション・サークル紹介・仮入部体験	13	後期オリエンテーション、ゼミ希望アンケート			
	2	クラスゼミ	14	学習ゼミ①			
	3	責任実習に関する指導①	15	運動会			
	4	責任実習に関する指導②	16	学習ゼミ②			
	5	防災避難訓練、学生総会、交通安全講習会	17	双子ちゃん集まれ			
	6	クラスゼミ、個人面談	18	実習報告会			
	7	クラスゼミ、個人面談	19	クラスゼミ			
	8	クラスゼミ、個人面談	20	クラスゼミ			
	9	山短テキスト効果測定①、山緑祭準備	21	学習ゼミ③			
	10	山緑祭準備	22	山短テキスト効果測定②・学習ゼミ④			
	11	山緑祭後片づけ	23	学習ゼミ⑤			
	12	クラスゼミ、個人面談	24	クリスマス会リハーサル			
			25	学習ゼミ⑥			
			26	学習成果発表会、「建学の精神」等アンケート			
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度(スキルアップの学習 30%、行事 20%、ゼミナール 50%) 100% ※行事欠席1回で10点減点、授業1回欠席で2点減点します。						
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。						
参考書	適宜指示します。						
予習・復習・課題など	専門的な内容への取り組みとなりますので、授業時間外でもクラス・グループ・個人による活動・作業が必要となる場合があります。						
関連科目	基礎演習、総合演習、スキルアップセミナーⅠ						
質問受付の方法	各担任やゼミナール担当に随時聞いてください。						
履修上の注意	基礎演習(第1時限)とスキルアップセミナーⅡ(第2時限)は、学習内容によって1限目と連続で実施したり、同じテーマでもそれぞれの授業の違った観点から展開したりする場合があります。						

授 業 科 目 名	実習指導 I			教 員	橋本 淳一・相沢 和恵・新井 英人 上田 厚作・室井 佑美		
開 講 時 期	前期	配当年度	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	教育実習 I 幼稚園						
授 業 の 概 要	主として「教育実習 I・II」の事前・事後指導として、実習準備から実習終了に至る一連の手続きの仔細とともに、実習に必要な基礎的な知識や技術、たとえば観察のポイントや子どもとのかかわり方から、幼稚園におけるより実践的な指導法や指導計画の立て方や指導案の書き方までを学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】主として教育実習 I・IIを円滑に行うため、「記録」することを中心に必要十分な実習に関する知識・態度・技術・能力を習得する。 【到達目標】保育者であることを自覚し、基本的な実習態度を習得するとともに、保育場面を適切に観察し必要十分な実習日誌を作成でき、保育実践にも参加できる。						
授業の方法等	全体講義、グループ別の演習、ディスカッション、実技等多様な形式で進めます。						
授 業 計 画	1 実習科目の概略と実習登録カードの作成 2 実習幼稚園の自己開拓の進め方 3 幼稚園と保育所とのちがいと教育実習 I のねらい 4 幼稚園・保育園見学の準備（態度、マナー、観察の仕方、記録の書き方） 5 鳩山幼稚園見学（1・2組） ひばり保育園見学（3・4組） 6 鳩山幼稚園見学（3・4組） ひばり保育園見学（1・2組） 7 幼稚園・保育園見学の振り返り（学生の記録と園の日報をもとに） 8 子どもとのかかわり方と実習日誌の書き方①（保育場面のビデオ教材を見ての観察・記録練習） 9 子どもとのかかわり方と実習日誌の書き方②（保育場面のビデオ教材を見ての観察・記録練習） 10 子どもとのかかわり方と実習日誌の書き方③（実際の日誌の記録練習・一日の流れと環境構成） 11 子どもとのかかわり方と実習日誌の書き方④（実際の日誌の記録練習・子どもの活動と保育者の援助） 12 教育実習 I の実習目標・課題の立て方と実習の進め方、日誌のその他の個所の書き方 13 保育所でのボランティア実習のねらいと進め方 14 簡単な指導案によるロールプレイ①（自己紹介や手遊び・絵本等） 15 簡単な指導案によるロールプレイ②（ゲーム遊びや運動遊び等）						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 30% ■その他〔課題・発表〕 70%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学、文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
参考書	『幼稚園教育指導資料（第1集、第3集）』文部科学省						
予習・復習・課題など	日誌作成練習課題や実習関係手続き書類の作成、実習園との連絡等は授業時間外に行います。						
関連科目	教育実習 I 保育実習 I 施設実習 I クラス運営と教材研究 I						
質問受付の方法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可 【Eメールアドレス＝jh0831@gmail.com】						
履修上の注意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは極力他の曜日時間に行ってください。						

授 業 科 目 名	実習指導Ⅱ			教 員	橋本 淳一・相沢 和恵・新井 英人 上田 厚作・黒澤 一幸・室井 佑美		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	保育所 乳児 保育実習Ⅰ 児童福祉施設 施設実習Ⅰ						
授 業 の 概 要	「保育実習Ⅰ」及び「施設実習Ⅰ」の事前・事後指導として、実習手続きに加え、保育所や児童福祉施設の機能やそこでの保育や養護、援助の実際を知り、保育者の職務や必要とされる子どもや利用者とのかわり方、日誌の書き方などを学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】主として保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰを円滑に行うため、「計画を立てる」ことを中心に必要な実習に関する知識・態度、技術・能力を習得する。 【到達目標】保育者としての役割行動(言葉遣いや立居振舞)を取得し、自分で保育計画・指導案を作成して部分・責任実習等で適当な保育実践ができる。						
授業の方法等	全体講義、グループ別の演習、ディスカッション、実技等多様な形式で進めます。						
授 業 計 画	1	ボランティア実習の振り返り 教育実習Ⅰの事前準備とオリエンテーションから実習終了までの手続き					
	2	日誌の書き方と指導案の立て方、書き方①(保育のねらいに着目した記述)					
	3	日誌の書き方と指導案の立て方、書き方②(こどもの発達に着目した記述)					
	4	日誌の書き方と指導案の立て方、書き方③ 教育実習Ⅰ直前指導(確認)					
	5	教育実習Ⅰの振り返りと保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰの事前準備とオリエンテーションまでの手続き					
	6	福祉施設見学					
	7	施設実習の特色と施設実習のねらいと実習生の目標・課題					
	8	施設の種類と施設での生活					
	9	施設実習の日誌の書き方、考え方					
	10	施設実習の実際(ケーススタディ)①					
	11	施設実習の実際(ケーススタディ)②					
	12	保育所保育の特色と保育実習Ⅰのねらい、実習目標・課題の立て方					
	13	部分実習の考え方・進め方①(含、ロールプレイ)					
	14	部分実習の考え方・進め方②(含、ロールプレイ)					
	15	保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰの直前準備(健康チェック、細菌検査等)					
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 30% ■その他〔課題・発表〕70%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学、文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
参考書	『幼稚園教育指導資料(第1集、第3集)』文部科学省						
予習・復習・課題など	日誌作成練習課題や実習関係手続き書類の作成、実習園との連絡等は授業時間外に行います。						
関連科目	教育実習Ⅰ 保育実習Ⅰ 施設実習Ⅰ クラス運営と教材研究Ⅰ						
質問受付の方法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可【Eメールアドレス=jh0831@gmail.com】						
履修上の注意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは極力他の曜日時間に行ってください。						

授 業 科 目 名	実習指導Ⅲ			教 員	橋本 淳一・相沢 和恵・新井 英人 上田 厚作・黒澤 一幸・室井 佑美		
開 講 時 期	前期	配当年度	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	教育実習Ⅱ 保育実習Ⅱ 施設実習Ⅱ 責任実習 主活動						
授 業 の 概 要	「保育実習Ⅱ」又は「施設実習Ⅱ」(選択)の事前・事後指導として、実習手続きに加え、保育の実践に必要な実践的な知識や技術、子どもや利用者への指導・援助法や指導案の書き方、クラスでの主活動や利用者の活動の展開方法などを学ぶとともに、子ども家庭福祉や地域子育て支援に対する社会的ニーズを理解力する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育実習Ⅱ・施設実習Ⅱ、教育実習Ⅱを円滑に行うため、計画に基づいて「保育を実践」することを中心に必要十分な実習に関する知識・態度、技術・能力を習得する。 【到達目標】保育者としての使命感や責任感を醸成し、問題解決思考に基づいて保育場면을計画・設定したり、対象に応じた保育を実践したりできる。						
授業の方法等	全体講義、グループ別の演習・ディスカッション・実技等多様な形式で進めます。						
授 業 計 画	1	教育実習Ⅱの準備(オリエンテーションから実習終了までの手続き) 実習登録カード 実習生調書					
	2	保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰのまとめ 責任実習を含む実習の特色とその目標・課題の立て方					
	3	部分責任実習の指導案作成①(季節と子どもの発達に合った主活動の選び方)					
	4	部分責任実習の指導案作成②(指導のポイントの押さえ方、書き方)					
	5	教育実習Ⅱ直前指導(実習目標・課題と主活動の確認)					
	6	教育実習(後期)の振り返り 保育実習Ⅱ・施設実習Ⅱの準備(オリエンテーションから実習終了まで)					
	7	保育実習Ⅱと施設実習Ⅱの特色と実習のねらい、実習目標の立て方					
	8	保育所保育の特色の研究①(3歳未満児と3歳以上児)					
	9	保育所保育の特色の研究②(地域子育て支援と保護者)					
	10	通所型児童福祉施設・他での施設実習① 例:児童厚生施設					
	11	通所型児童福祉施設・他での施設実習② 例:通所型小規模授産施設					
	12	保育実習Ⅱと施設実習Ⅱでの留意事項と直前指導					
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 30% ■その他〔課題・発表〕70%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学、文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
参考書	『幼稚園教育指導資料(第1集、第3集)』文部科学省						
予習・復習・課題など	日誌作成練習課題や実習関係手続き書類の作成、実習園との連絡等は授業時間外に行います。						
関連科目	教育実習Ⅱ 保育実習Ⅱ 施設実習Ⅱ クラス運営と教材研究Ⅱ						
質問受付の方法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可 【Eメールアドレス=jh0831@gmail.com】						
履修上の注意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは極力他の曜日時間に行ってください。						

授 業 科 目 名	保育実習Ⅰ			教 員	室井 佑美		
開 講 時 期	集中	配当年次	1	単位数	2	授業形態	実習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	保育所 見学・観察実習 参加実習 部分実習 夏休み保育ボランティア						
授 業 の 概 要	保育所において、見学・観察実習、参加実習、部分実習を中心に、保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能と保育士の職務について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育所の機能と役割を具体的に理解するとともに、子どもの観察や子どもとのかかわりを通して、子どもへの理解および保育士の職務に対する理解を深めます。 【到達目標】 保育所の機能や役割について観察を通して把握し、説明ができる。子どもへの観察やかかわりを通して、発達段階を理解し、個別性を実感して洞察を深め、直接的に援助へと行動ができる。保育士の指導・援助を得て、自ら保育を部分的に実践し、ふりかえりから課題を見つけ出せる。						
授業の方法等	原則、公立保育所（一部、私立保育所）において、見学・観察実習、参加実習、部分実習を中心に2週間（12日間、90時間以上）の実習を行います。						
授 業 計 画	1	【実習の内容】 1) 実習先の保育所について理解します。 2) 保育所での一日の流れを理解し、参加します。 3) 子どもの観察やかかわりを通して、乳幼児の諸所の発達を理解します。 4) 保育計画および指導計画を理解します。 5) 生活や遊びなど、保育活動の一部分を担当し、保育技術を習得します。 6) 職員間の役割分担とチームワークについて理解します。 7) 保育に関する記録や保護者とのコミュニケーションなどを通して、家庭・地域社会とのつながりを理解します。 8) 子どもの最善の利益を具体化する方法について学び、考察します。 9) 保育士としての倫理を具体的に学びます。 10) 安全及び疾病予防への配慮について具体的に理解します。					
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤務状況 15%〕100%						
教科書	「実習ガイドブック」 山村学園短期大学 「保育所保育指針解説書」 厚生労働省 フレーベル館						
参考書	「幼稚園教育指導資料」(第1集～第5集) 文部科学省						
予習・復習・課題など	実習先の保育所でのオリエンテーションは、実習時間の他に設定することが必要です。 実習日誌の記入や部分実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。						
関連科目	実習指導Ⅱ クラス運営と教材研究						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び担当教員へ直接質問してください。						
履修上の注意	1年次の夏休み期間中に保育所等における「保育ボランティア」への参加は必須です。						

授 業 科 目 名	生命倫理			教 員	渡邊 智寛		
開 講 時 期	後期	配当年度	1・2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	生命の尊厳、生殖補助医療、遺伝子操作、子どもの自己決定、脳死・臓器移植、安楽死、エンハンスメント（能力増強）、動物の生命、環境問題						
授 業 の 概 要	生命に関わる倫理的問題の検討を通して、そこではどんな考え方が衝突しているのか、それらの考えがどんな背景をもっているのかを学びます。私たちにあって常に身近である生命の取り扱い、生命の価値、生命の終わり方といった問題を、自分の問題として深く考えます。周囲に散見されるこれらの問題は、多くの場合きわめて重要でありながら、しかし同時に、容易に解決することが困難でもあることを、深く理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】規範が複雑化し価値観が多様化した現代社会では、高度な倫理的判断力が求められます。機械的な対応に陥らず自ら思考し判断する力が欠かせません。専門的な知識を獲得したうえで、倫理的に思考し、判断し、応用する力を養成します。他人の意見を理解し尊重する態度も養います。 【到達目標】(1)生命倫理的諸問題を具体的かつ詳細に理解する。(2)各学説の意味と目的を理解する。(3)各問題に対し自分の意見を形成する。(4)その意見の根拠・理由を正確に説明する。						
授業の方法等	「授業形態」は「講義」となっていますが、学生グループによる調査や発表、全員参加の討論が中心となります。授業の終盤では教員による総括と解説がなされます。統計や新聞記事、ビデオ教材なども扱います。自分の意見とその理由などを論述する課題（授業内提出物）もあります。						
授 業 計 画	1 導入：生命倫理とはなにか 2 生命の始まりに関わる問題① 生殖補助技術、人工妊娠中絶 3 生命のはじまりに関わる問題② 子供の選択、権利は誰のものか 4 生命の取り扱いに関わる問題① 遺伝子操作、クローン人間 5 生命の取り扱いに関わる問題② 遺伝子の選択と排除、ヒトの改良と強化 6 生命の質と自己決定に関わる問題① 医師－患者関係、高度医療資源配分問題 7 生命の質と自己決定に関わる問題② インフォームド・コンセント、QOLとSOL 8 生命の終わりに関わる問題① 脳死・臓器移植、安楽死・尊厳死、終末期医療 9 生命の終わりに関わる問題② 死の概念、治療の概念、死を認める条件 10 人間以外の生命に関わる問題① 命を食す、ペットを飼う、動植物を利用する 11 人間以外の生命に関わる問題② クジラ・イルカ漁の是非、普遍的道德と文化相対主義 12 環境と人間に関わる問題① 自然とは何か、自然と人間の関係、未来に対する責任 13 環境と人間に関わる問題② ディープ/シャロー・エコロジー、生命圏全体主義 14 総論① 生命倫理基本四原則＋自律尊重原理、功利主義、(新)優生主義 15 総論② 自己決定、愚行権、パーソン論、動物・環境の権利						
成績評価の基準と方法	■期末試験〔筆記〕40% ■授業内発表 30% ■授業内提出物 30%						
教 科 書	なし						
参 考 書	調査・発表テーマに応じ、適宜教員が指示します。						
予習・復習・課題など	発表担当者（または担当グループ）は、事前に発表内容を調査し、資料を作成する必要があります。資料の作成方法、発表のコツなどについては、その都度アドバイスや指示を出します。						
関 連 科 目	なし						
質 問 受 付 の 方 法	講義前後の時間帯に、教室または講師控室にて。それ以外の連絡先・手段については授業で告知します。						
履 修 上 の 注 意	普段から講義内容に関連するテレビ・新聞・インターネット等の情報になるべく多く接するよう心掛けてください。家族や友人と話し合うことなども強く薦めます。						

授 業 科 目 名	施設実習 I			教 員	黒澤 一幸		
開 講 時 期	集中	配当年次	1	単位数	2	授業形態	実習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	施設保育士、生活支援、養護、支援・援助、ディリープログラム						
授 業 の 概 要	居住型児童福祉施設等及び障がい児通所施設等の生活に参加し、利用者の理解を図ると共に、施設の役割や機能及び保育士としての職務や養護の実際を学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】児童福祉施設等で利用者と共に生活することにより、保育士としての役割や養護の実際について理解する。 【到達目標】(1)児童福祉施設等の役割と機能を理解する。(2)施設の生活と一日の流れについて理解する。(3)養護内容について理解する。(4)生活や援助などの一部分を担当し、養護技術を習得する。						
授業の方法等	居住型児童福祉施設等及び障がい児通所施設等において、12日間(90時間)実習を行います。						
授 業 計 画	1 ○実習施設の役割と機能を理解する。 2 ○児童や利用者の観察と記録を通して児童や利用者の理解を深める。 3 ○児童等の心身の状態に応じた対応を通して養護内容や生活環境のあり方について理解する。 4 ○保育士としての職務内容や職員間のチームワークの必要性について理解する。 5 ○保護者や他機関との連携の在り方について理解する。 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤務状況 15%〕100%						
教 科 書	「実習ガイドブック」山村学園短期大学						
参 考 書							
予習・復習・課題など	実習園でのオリエンテーション参加が実習前に必要です。						
関 連 科 目	社会的養護内容、実習指導 I、実習指導 II						
質問受付の方法	担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	実習先は大学が指定します。						

授 業 科 目 名	保育実習Ⅱ			教 員	橋本 淳一		
開 講 時 期	集中	配当年次	2	単位数	2	授業形態	実習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	保育所 部分・責任実習 指導案作成						
授 業 の 概 要	保育実習Ⅰをふまえて、保育所の保育を実際に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術の習得をめざします。また、家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を養います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育全般に参加し、保育所の保育士に求められる資質・能力・技術について、その習得を図ります。 【到達目標】保育技術を習得するとともに、指導計画を立案し、保育者にかかわって保育を実践します。						
授業の方法等	保育所（私立）において、見学・観察・参加実習に加えて、指導案作成を伴う部分・責任（全日）実習を必ず含めて2週間（12日間、90時間以上）の実習を行います。						
授 業 計 画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	【実習の内容】 1) 保育全般に参加し、保育技術を習得します。 2) 子どもの個人差について理解し、対応方法を習得させる。特に発達の遅れや生活環境にともなう子どものニーズを理解し、その対応について学びます。 3) 指導計画を立案し、実際に実践します。 4) 子どもの家族とのコミュニケーションの方法を、具体的に習得します。 5) 地域社会に対する理解を深め、連携の方法について具体的に学びます。 6) 子どもの最善の利益への配慮を学びます。 7) 保育士としての職業倫理を理解します。 8) 保育所の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて、自己の課題を明確化する。					
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤務状況 15%〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 厚労省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
参考書	『幼稚園教育指導資料（第1集、第3集）』文部科学省						
予習・復習・課題など	実習園でのオリエンテーションは、実習園で授業時間外に行います。 実習中の実習日誌の記入や部分実習等の保育実践の準備は原則自宅で行ないます。						
関連科目	実習指導Ⅲ クラス運営と教材研究Ⅱ						
質問受付の方法	担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	「保育実習Ⅰ」の単位取得、細菌検査陰性、実習指導Ⅱの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。また「施設実習Ⅱ」との重複履修はできません。						

授 業 科 目 名	施設実習Ⅱ			教 員	黒澤 一幸		
開 講 時 期	集中	配当年次	2	単位数	2	授業形態	実習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	個別支援計画、児童家庭福祉、社会的養護、家族支援、問題行動、生活リズム、生活指導						
授 業 の 概 要	保育所以外の児童福祉施設等の生活に参加し、利用者の養護の実際について理解を深めます。それと共に利用者の置かれている環境や障がいの状態等にも目を向け、社会との関連性についても理解を図ります。また、保育士としての業務内容や倫理観等についても学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】児童福祉施設等で利用者と共に生活することにより、保育士としての役割や養護の実際について理解する。 【到達目標】(1)利用者の心情等を受容し、共感する態度を理解する。(2)保育士としての養護内容について理解し、個別支援計画を作成する。(3)利用者の家族への対応を理解する。						
授業の方法等	保育所以外の児童福祉施設等において、12日間(90時間)の実習を行います。						
授 業 計 画	1	○実習施設の養護全般に参加し、実習施設の役割と機能についての理解を深める。					
	2	○個々の利用者の観察とその記録、個々の状態に応じた関わりと援助を通して子ども理解を深める。					
	3	○個々の利用者の抱える問題や社会との関連性について理解する。					
	4	○個別支援計画の理解と活用の実際について理解する。					
	5	○職員間のチームワークや関係機関及び保護者等の連携の必要性について理解する。					
	6	○保育士としての倫理観や養護観を学び、自己の課題や目標を理解する。					
	7	○家庭支援の現状や支援の方法について理解する。					
	8	○児童の健全育成の在り方等について理解する。					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65% 日誌評価 20% 勤惰状況 15% 〕100%						
教科書	「実習ガイドブック」山村学園短期大学						
参考書							
予習・復習・課題など	実習園でのオリエンテーション参加が実習前に必要です。						
関連科目	社会的養護内容、実習指導Ⅰ、実習指導Ⅱ、実習指導Ⅲ						
質問受付の方法	担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	実習参加にあたっては、「施設実習Ⅰ」の単位取得が前提です。また、「保育実習Ⅱ」との重複履修はできません。						

授 業 科 目 名	教育実習Ⅰ			教 員	新井 英人		
開 講 時 期	集中	配当年次	1	単位数	1	授業形態	実習
免許・資格との関係	幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	幼稚園 見学・参加実習						
授 業 の 概 要	幼稚園における保育の実際と幼稚園教諭として必要な知識、技術、能力について、見学・観察・参加を通して実践的に学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】幼稚園教育を具体的に理解するために、子どもの姿を観察しながらかわりをとおして、子どもへの理解を深める。 【到達目標】子どもとかかわる中で、園の生活をおおよそ把握することができる。保育者の援助について保育・子どもへの理解を深めることができる。						
授業の方法等	幼稚園において、見学・観察（部分）実習を中心に1週間の体験実習を行います。						
授 業 計 画	1	○幼稚園の一日のながれを把握します。 ○人、もの、場所など、保育の環境を学びます。 ○幼児の姿から、発達や個性について概要を理解します。 ○保育内容について学びます。 ○保育者の行動を観察し、保育のねらいや配慮を理解します。					
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価：実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15%〕100%						
教 科 書	「実習ガイドブック」山村学園短期大学 幼稚園教育要領解説						
参 考 書	保育所保育指針解説書 幼稚園教育指導資料(第1集～第5集) 文部科学省 等						
予習・復習・課題など	実習園でのオリエンテーションが時間外に必要です。実習日誌の記入や保育実践の準備等は、原則自宅で行います。						
関 連 科 目	実習指導Ⅰ 実習指導Ⅱ クラス運営と教材研究Ⅰ 他						
質問受付の方法	担当へ						
履修上の注意	学内実習が不十分である場合、実習に参加できないことがあります。						

授 業 科 目 名	教育実習Ⅱ			教 員	相沢 和恵		
開 講 時 期	集中	配当年次	2	単位数	1	授業形態	実習
免許・資格との関係	幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	幼稚園 部分実習 一日実習 責任実習						
授 業 の 概 要	教育実習Ⅰをふまえて、幼稚園における保育の実際と幼稚園教諭として必要な知識、能力、技術の習得を目指します。教育実習Ⅰをふまえて更に実践的に学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育全般に参加し、幼稚園教諭に必要な知識、能力、技術の習得を図る。 【到達目標】 保育・子どもへの理解を深め、保育者の援助について理解することができる。指導計画を立案し、部分・一日保育を実践することができる。						
授業の方法等	幼稚園において参加実習や、指導計画を伴う部分実習、責任実習（一日実習）を3週間の実習で行います。原則として、教育実習Ⅰの実施園で行います。						
授 業 計 画	1	○幼児の姿から、発達や個性について概要を理解します。 ○保育内容について学びます。 ○保育者の行動を観察し、保育のねらいや配慮を理解します。 ○保育者の助手的立場になって、指導援助を行います。 ○指導計画を立案し、一日の中で一部または一日を実際に担当します。 ○自分の保育したことを振り返り、考察し指導を受けます。 ○地域における幼稚園の役割、保育者に求められることなどを体験し理解します。					
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15%〕100%						
教 科 書	「実習ガイドブック」山村学園短期大学 幼稚園教育要領解説						
参 考 書	保育所保育指針解説書 幼稚園教育指導資料(第1集～第5集) 文部科学省 等						
予習・復習・課題など	実習園でのオリエンテーションが時間外に必要です。実習日誌の記入や保育実践の準備等は原則自宅で行います。						
関 連 科 目	実習指導Ⅰ 実習指導Ⅱ 実習指導Ⅲ クラス運営と教材研究Ⅰ Ⅱ 他						
質問受付の方法	担当へ						
履修上の注意	学内実習が不十分な場合、実習に参加できないことがあります。						

授 業 科 目 名	クラス運営と教材研究 I			教 員	橋本 淳一・北條 直子		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	クラス クラス担任 指導計画 主活動(課題のある遊び) 園行事 園文書						
授 業 の 概 要	幼稚園や保育所において保育を進める上で基盤となるクラス運営の理論と技法を学びます。クラス担任、保育者として、指導計画、主活動(課題のある遊び)、園行事、園文書(クラスだより、連絡帳、要録等々)等、日々の保育を円滑にそして効果的に進めることができるよう、さまざまなシチュエーションを想定しながら実践的に学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育現場や実習の際に求められる、季節や学年(年齢)に応じたクラス運営と保育教材に関する知識と実践力の獲得をめざします。 【到達目標】 ①クラス運営のポイントを学年(年齢)別に覚える。 ②1年次2月の保育実習 I において、適切な課題のある遊びを主体的に計画・実践できる。						
授業の方法等	大半を演習形式で行います。グループや個人で何かををつくって遊んだり、教室外で活動したり、発表をしたりして進めることになります。必要な材料や用具についてはその都度指示します。						
授 業 計 画	1 クラスとクラス担任の役割・仕事 2 指導計画にそった保育教材、主活動(課題のある遊び)の考え方 3 幼稚園教諭・保育士の一日の動きとその意味 4 3・4・5歳児の年間遊び計画① 5 3・4・5歳児の年間遊び計画② 6 身近な素材を使った製作① 7 身近な素材を使った製作② 8 身近な素材を使った製作③ 9 身近な素材を使った製作④ 10 集団遊び(鬼ごっこ、ゲーム)の実践(ロールプレイ)① 11 集団遊び(鬼ごっこ、ゲーム)の実践(ロールプレイ)② 12 集団遊び(鬼ごっこ、ゲーム)の実践(ロールプレイ)③ 13 集団遊び(鬼ごっこ、ゲーム)の実践(ロールプレイ)④ 14 まとめ						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔課題・発表〕80%						
教科書	自由国民社『U-CANのよくわかる指導計画の書き方0・1・2歳』 自由国民社『U-CANのよくわかる指導計画の書き方3・4・5歳』						
参考書	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
予習・復習・課題など	授業時間外に、課題作成や発表・ロールプレイの準備が必要です。						
関連科目	実習指導 I・II・III 教育実習 I・II 保育実習 I・II						
質問受付の方法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可 【Eメールアドレス=jh0831@gmail.com】						
履修上の注意	出欠席の呼名も授業内容の範囲とします。また、グループワークでの協働態度も授業内容です。						

授 業 科 目 名	クラス運営と教材研究Ⅱ			教 員	橋本 淳一・北條 直子		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	クラス クラス担任 指導計画 主活動(課題のある遊び) 園行事 運動会						
授 業 の 概 要	幼稚園や保育所において保育を進める上で基盤となるクラス運営の理論と技法を学びます。クラス担任、保育者として、指導計画、主活動(課題のある遊び)、園行事の運営(運動会)等、日々の保育を円滑にそして効果的に進めることができるよう、さまざまなシチュエーションを想定しながら実践的に学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育現場や実習の際に求められる、季節や学年(年齢)に応じたクラス運営と保育教材に関する知識と実践力の獲得をめざします。 【到達目標】 ①園行事としての運動会を企画・運営できる。 ②2年次の教育実習Ⅱ・保育実習Ⅱにおいて、適切な課題のある遊びを主体的に計画・実践できる。						
授業の方法等	大半を演習形式で行います。グループや個人で何かををつくって遊んだり、教室外で活動したり、発表をしたりして進めることになります。必要な材料や用具についてはその都度指示します。						
授 業 計 画	1 クラス運営に伴う担任の活動と意図の確認 2 部分・責任実習における主活動(課題のある遊び)と指導案の研究① 3 部分・責任実習における主活動(課題のある遊び)と指導案の研究② 4 部分・責任実習における主活動(課題のある遊び)と指導案の研究③ 5 部分・責任実習における主活動(課題のある遊び)と指導案の研究④ 6 園行事の中の活動と遊び① 7 園行事の中の活動と遊び② 8 園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備① 9 園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備② 10 園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備③ 11 園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備④ 12 園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備⑤						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔課題・発表〕80%						
教科書	自由国民社『U-CANのよくわかる指導計画の書き方0・1・2歳』 自由国民社『U-CANのよくわかる指導計画の書き方3・4・5歳』						
参考書	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
予習・復習・課題など	授業時間外に、課題作成や発表・ロールプレイ等の準備が必要です。						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 教育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可 【Eメールアドレス=jh0831@gmail.com】						
履修上の注意	出欠席の呼名も授業内容の範囲とします。また、グループワークでの協働態度も授業内容です。						